

Published since 1971

日工販NEWS

May
2024

工作機械業界への知見を広げ、日工販会員の絆を深める広報誌

百合が原公園の藤棚(北海道札幌市)



日本工作機械販売協会
JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION

アイデアは
現場だけでは生まれない。

#1パーセントのひらめき

産業用ロボット・自動化システムの専門展

ROBOT
TECHNOLOGY
JAPAN 2024

ロボットテクノロジージャパン

中部最大級
240社超が
集結!

期間 **2024.7.4 (木) - 6 (土)** 開催場所 **Aichi Sky Expo** (愛知県国際展示場)

開催時間 **10:00 - 17:00**

最終16時(土)は16:00まで

入場料 大人**1,000円** 小学生以上**500円**

ただし、お天候やイベントからの事前登録者、海外参加者、学生は無料

【出展製品】垂直多関節・水平多関節・バラレルリンク・直交・協働など各種産業用ロボット、ガントリーローダー、AGV/AMR、自動倉庫、ソーター、マテハン装置・機器、ピッキングシステム、その他物流機器、各種ハンド、ロボット構成部品、周辺機器、各種センサー・制御機器、ソフトウェア、AI・IoT関連装置およびシステム、ロボット搭載機械・装置、自動化技術提案など

※タービスロボットや介護ロボットなどは対象外です

来場登録はこちら→



【主催】協賛 **ニュースタジエ**社 【共催】愛知県機械工具商業協同組合 <https://robot-technology.jp>

製造業から物流、食品、包装まで、自動化の未来が見つかる

May
2024



「百合が原公園の藤棚」
北海道札幌市

SE 合格者に
ご回覧をお願いします。

CONTENTS

- 2 特集 会長インタビュー
- 4 分かりやすい話題の技術
「カーボンニュートラルを目指す NC 旋盤『XTs-6』」
高松機械工業株式会社 山野 真
- 7 分かりやすい話題の技術
「ハイパフォーマンストルクモータ TMB+ / TMK / TMC シリーズ」
ハイデンハイン株式会社 尾形 有三
- 10 私の読書評
「現代秀歌」 日工機材株式会社 石原 崇貴
- 11 私の好きなお店
「博多もつ鍋 おおやま」 株式会社日清機工 石野 幸子
- 12 工作機械と私
三菱商事テクノス株式会社 高田 裕之
- 13 会社生活に於ける私の初〇〇
「会社での私の初契約」
三井住友ファイナンス&リース株式会社 伊藤 真
- 14 私の健康法
株式会社ジェイテクト 三好 崇博
- 15 リレー随筆
株式会社テツカ 井口 大河
- 16 海外だより
「驚きと勉強の毎日」
TAISEI TECHNO (THAILAND) CO.,LTD 下田 栄介
- 18 自社紹介
岡谷機販株式会社 江津 由兼
- 20 統計資料
「工作機械・FA 流通動態調査 1」「工作機械・FA 流通動態調査 2」
「マシニングセンタ動向 & NC 施盤動向」
「工作機械業種別受注額 (2024 年 3 月)」
- 24 SE 教育
日工販 SE 合格者 第 247 回発表
- 24 お知らせ
日工販ニュース表紙写真の公募について
- 25 議事録
「第 309 回定例理事会議事録」「第 310 回定例理事会議事録」
「東部地区 工場見学会」「東部地区 2024 年度地区委員会」
「中部地区 工場見学会」「中部地区 情報交換会」
「西部地区 情報交換会」

工作機械商社の立場からみた工作機械産業のこれまでとこれからや、商社に求められる役割などについて、過日、日工販の高田会長が株式会社ニュースダイジェスト社からインタビューを受けました。

インタビューの内容は、同社が発行する「月刊生産財マーケティング 2024年4月号」に掲載されました。

同社のご厚意により記事を転載させていただきます。



商社としてデジタル化を推進

昔ながらのものづくりからの脱却

工作機械商社の立場からみた工作機械産業のこれまでとこれからや、商社に求められる役割などについて日本工作機械販売協会（日工販）の高田研至会長に語ってもらった。「日本の製造業はこれまで職人の持つ技術の高さで評価されてきた。しかし、それに依存してしまいデジタル化の波に乗り遅れてしまった。商社として、製造現場のデジタル化を推進したい」と高田会長は話す。工作機械のメインユーザーである自動車産業の今後の動きや日工販としての取り組みなどについても話を聞いた。

自動車業界に感じる可能性

景況感はあまり良いとはいえない。昨年初頭の段階では、年末あたりから景気が回復すると見込んでいたが、想定通りの回復とはならなかった。今年の後半から来年にかけて景気が回復するとの声が多いが、それを実現するには雰囲気盛り上げないといけない。われわれ商社の立場としては「これから仕事が増えて忙しくなりますよ」と顧客に声をかけ、設備投資を検討してもらえる雰囲気作りをする必要がある。

雰囲気が悪い中でも昨年の受注額はそれなりに高かった。受注額はトータルで見れば全然悪くはないが、雰囲気が芳しくない。今年1月の日本工作機械工業会（日工会）の受注額が1,100億円と、前年同月と比べて優れなかったことも雰囲気の悪化に拍車をかけている。ただ、前年割れはしたものの、単月1,100億円は決して悪い数字でない。

昨年、受注額の回復が遅れた大きな要因は、自動車向けが伸び悩んだことだ。しかし、トヨタ自動車が今年1月に新エンジンの開発を発表した。トップメーカーがこのような動きをするということは、従来のエンジンがすぐなくなり、電気自動車（EV）に置き換わるわけではないと考えられる。エンジン車に使われる部品の需要もまだあるが、それを生産する設備は老朽化が進んでいる。今はEV関連の投資の割合が高いが、エンジン部品用の生産設備を買い替える投資は少しずつ増えると考えられる。まだ様子見の段階だが、これから状態は良化すると思われる。トヨタが2010年代後半に採用したシステム「TNGA（トヨタ・ニュー・グローバル・アーキテクチャー）」に合わせて、設備の一斉更新の動きがあったが、それと同じようなこと

が27年辺りに起きる可能性がある。この状況から、自動車向けがこれ以上盛り下がる要因はないように感じる。

この数年は欧州を中心にバッテリーEV（BEV）へのシフトが既定路線ようになっていた。しかし、最近では世間の風潮も変わり、BEVだけではインフラ面などで無理が生じるとの認識になりつつある。世界の車のおよそ3割はBEVに置き換わるともいわれるが、エンジン車がなくなることはないだろう。EV市場が拡大し、車の需要が低かった発展途上国にも普及すれば、自動車産業は右肩上がりの市場になる。新しい技術を活用した製品が出ることは、それに対応した工作機械や周辺機器などの商材がこれからも生み出されることを意味する。

ものづくりの転換期へ

FAメーカーや商社にとり見通しは悪くないが、工作機械ユーザーが今後生き残るには、ものづくりに対する考え方を転換すべき時が来ている。つまり、日本はデジタル技術を活用しなくてはいけない。その一例が図面の3D化だ。昔ながらの2D図面のままでは、複合加工や5軸加工への応用が利きにくい。最近では、パソコン上でシミュレーションをする例も出てきたようだ。

中国や韓国といったものづくりの新興国と呼ばれる国々でも、既に3Dデータが主流になっている。日本は個人の持つ能力に頼り過ぎており、かなり異質といえる。数年前までは、職人の経験や技量による高い加工技術が日本の良いところだと思われていたが、それが日本のデジタル化が進まない要因になってしまった。

2D図面を使い続けているような昔ながらの工場は「3K（きつい・汚い・危険）」の印象が強く、若者が敬遠してしまう。旧態依然の工場を変化させるためにも、デジタル技術の活用は避けては通れない。デジタル技術を駆使し、事前に仮想空間で十分に加工のシミュレーションをすれば、機械のスタートボタンを押すだけで一定のクオリティのワークを加工できる。きれいな工場で最新の機械を相手にしながらワークを作る環境であれば、若者たちは今よりもものづくりに興味を持ってくれるはず。

若者が工作機械業界に魅力を感じられるよう、顧客が一番近いわれわれのような商社が、デジタル化を強く提案したい。とはいえ、図面の3D化は一朝一夕でできるものではない。まずは自動パレット交換装置など、ロボットを使わない簡易の自動化を推進する。夜間に数時間でも無人で機械が動いている環境を作るのが大事。例えば、家族で経営しているような小規模の企業で親が夜遅くまで仕事をしている姿を見ると、その子供が製造業から離れてしまう。ゲーム感覚で自動化を活用し、スマートに働いている親を見て、子供があこがれるようになってほしい。

教育により注力

以前は機械ユーザーから商社不要論の声が聞かれたが、商社がユーザーの代役として立ち回ることも増え、そのような風潮はあまりなくなった。しかし、商社がただのメーカーの御用聞きで良かった時代は終わった。近年は工作機械や周辺機器を問わず、メーカーの直販志向が強まっている。

スマートフォンなどのデジタル端末で、製品カタログや製品に関する動画が見られるなど、メーカーが顧客に製品を直接PRする動きが活発化している。商社としての価値を確立できなければ、存在意義がなくなってしまう。日工販としては教育の支援に力を入れており、中でもセールスエンジニア向けの教育は約30年前から実施している。基本的な教育を通じて、受講者おのおのの得意分野ややるべきことを見つけ、各会社の教育でより深掘りして専門的な知識を得なければいけない。

今年の日工販の取り組みとして、第34回日本工作機械国際見本市（JIMTOF2024）に日工販として出展する。日工販の活動内容を来場者に知ってもらい、会員数の増加につなげたい。他にも、工場見学会といったイベントを通じて、地域の経済活性化に貢献できればと考えている。

（構成・八角秀）

分かりやすい話題の技術

No.
191

カーボンニュートラルを目指すNC旋盤「XTs-6」



高松機械工業株式会社
執行役員
工作機械事業本部
技術部 部長

山 野 真

・はじめに

近年、カーボンニュートラルやSDGsなど、サステナビリティをめぐる様々な社会課題により、モノづくりの現場でも環境への対応は必須になってきています。当社は長年「環境へのやさしさが標準仕様です」をキャッチコピーとして製品開発を行ってきました。

今回は、従来機よりも高性能・高機能でありながらも、これからの時代の設備として、さらなる省エネルギー化を実現したNC旋盤「XTs-6」を紹介させていただきます。



写真1：手動機（左）と自動機（右）

1 小型化・省スペース

6インチ旋盤クラスとして世界最小を実現しました。(機械幅1,105mm、フロアスペース1.52m²) さらに、低重心化することにより振動を低減し加工精度の安定を図りました。また自動化における材料供給コンベア高さも低くなり、作業者の負担軽減と段取り性向上を追求した使いやすいサイズ感としました。

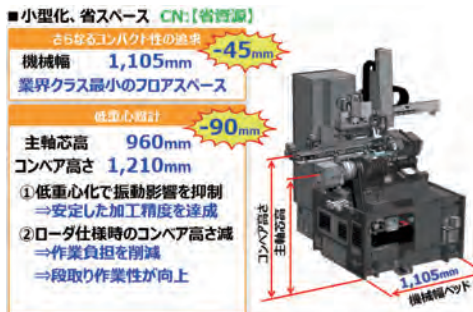


図1：小型化・省スペース

2 動作高速化・サイクルタイム短縮

主軸回転を高速化し、最高回転数5,000min⁻¹とすることにより切削時間を短縮します。さらにベルトのタイプ変更で主軸の加減速時間も短縮が可能になりました。

またスライド各軸動作の高速化を行い、これにより加工していない非切削時間を短縮できます。この非切削時間の短縮については生産性の向上だけでなく、1サイクル内に発生する無駄を削減させながらトータルのサイクルタイム短縮によって生産数が上がります。(同じ生産数なら時間、同じ時間なら生産数で効果が出ます)



図2：動作高速化・サイクルタイム短縮

3 省エネルギー

古い機種ほどアイドル時の消費電力量は大きく、モーター出力が低いので稼働時の消費電力量は小さいがサイクルタイムが長くなります。動作速度UP、出力UPによる消費電力の増加分よりも、サイクルタイム短縮による削減分が大きい場合に省エネ効果が得られます。高速化により瞬間的な消費電力は高くなりますが、サイクルタイムの短縮によりトータルの消費電力量を削減することが可能です。(社内標準測定用プログラムによる)

従来機に比べ、8.6%の消費電力削減効果を達成しています。30年前の機種と比べると20.6%削減しつつ、サイクルタイムは11%速くなっています。

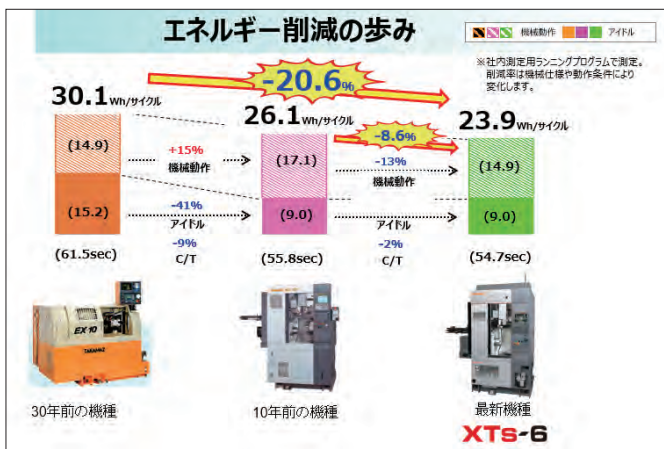


図3：省エネルギーの歩み

4 新機能

最新機種では様々な新しい機能を搭載しています。機械停止時に油圧ポンプへの電源供給を自動的に停止する「アイドルストップ機能」では、機械段取り作業中などの自動運転停止中に節電効果を得られます。また、加工時間を優先する運転と省エネを優先する運転を切替可能とする「省エネルギーレベル選択機能」は、主軸の加減速時間を任意に調整が可能です。連結ライン時にサイクルタイム差があり素材供給待ち時間が発生する場合などに有効に活用できます。さらに自動機における搬送ローダの「ローダ速度最適化機能」では、サイクルタイムに影響することなく必要十分な速度に自ら学習し機外速度を自動調整し、省エネ・長寿命化にも貢献します。

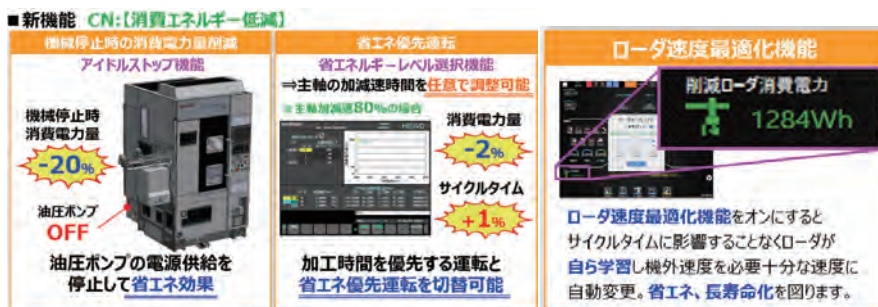


図 4：省エネルギー新機能

5 生産効率向上（使いやすさ）

作業性はもちろんのこと、生産中の状況確認や保守メンテナンス性にも様々な取組みがあります。機械の状態が見える化し異常の早期発見に繋げる「トレースグラフ表示」や、ワーク毎の機械状態データを蓄積する「トレーサビリティ機能」では、品質保証や予防保全といった工場全体領域の管理にも展開出来るようになります。

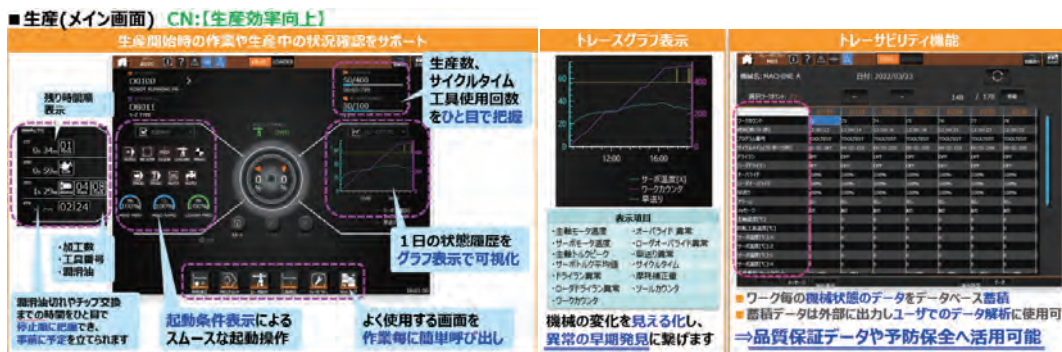


図 5：生産効率向上（使いやすさ）の機能

以上簡単になりますが「XTs-6」の紹介をさせていただきました。このように TAKAMAZ は常に挑戦し続けるモノづくりを通じて、サステナビリティを巡る課題に向き合い、これからも持続可能な社会の実現を目指します。

今後とも「お客様に満足を得られる商品を提供」していきますのでよろしくお願い致します。

・・・製品情報は高松機械工業ホームページ <https://www.takamaz.co.jp> ・・・



分かりやすい話題の技術

No.
192

ハイパフォーマンストルクモータ TMB+ / TMK / TMC シリーズ



ハイデンハイン株式会社
マシンツールアプリケーション営業部

尾形 有三

1. はじめに

スイスに拠点を置く ETEL は、ダイレクトドライブ技術の商業化を目的として、ローザンヌにあるスイス連邦工科大学から独立し、1974年に設立されました。ETEL のトルクモータ（回転型ダイレクトドライブモータ）はダイレクトドライブ技術のパイオニアとして、世界に先駆けて新技術を開発、コギングトルクをほぼ発生させず、高速回転・高トルクの優位性を実現、加工ワークの高い面品位や生産効率アップを実現可能とし、さまざまな業界における、革新的なテクノロジーの成長と進歩に広く貢献してきました。

2. ETEL トルクモータ製品紹介

高速高回転と高トルクを特長とした TMB+、TMK、TMC の3シリーズを展開しています。

型式	特徴
TMB+ シリーズ	標準モデルの TMB+ は高トルクと高速回転のバランスが取れた製品となっており、切削加工機や研削加工機などに使用されます。最大速度 4,590 min ⁻¹ 、最大トルク 42,900 Nm、小径から大口径まで提供可能でコイルタイプも選択することができ、100 種類以上のバリエーションから要求仕様に合った最適な製品を提案できます。
TMK シリーズ	最大速度 5,450 min ⁻¹ の最高速で動作可能な TMK はハイエンドアプリケーション向け製品です。最大トルク 20,800 Nm。
TMC シリーズ (New)	TMB+ と TMK の長所を併せ持った新製品の TMC は新技術の導入により TMB+ と比較して高速回転時の高トルクに対応するミドルレンジ~ハイエンドアプリケーション向け製品で、高精度の切削加工機、研削加工機、ロータリーテーブルに使用されます。

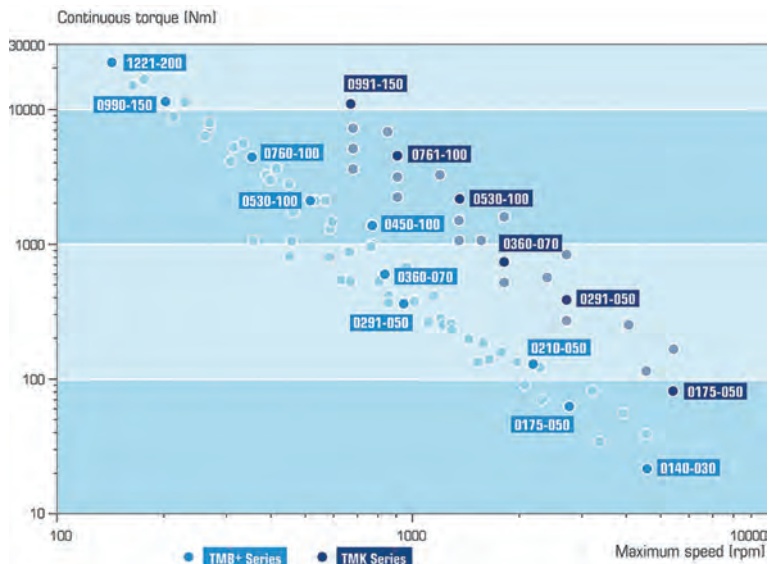


図 1. TMB+/TMK の製品ラインナップ (TMC についてはお問い合わせください)

3. ETEL トルクモータ特長紹介

3-1. モータコイル技術

ETEL のトルクモータは、マグネットと鉄心それぞれの配置を最適化することでコギングの最小化を実現しています。また鉄心の開口部を広く保つことでコイルの形成を容易にし、従来の形状では 30% 程度であったコイル充填率を 60% 以上に高めることに成功しています。これらの技術により、ETEL のトルクモータは高トルクかつ低コギングの両立を実現しています。

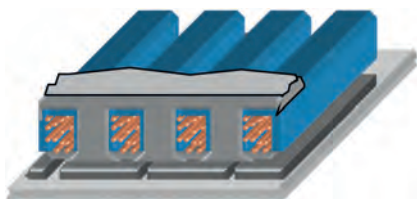


図 2. 従来構造例

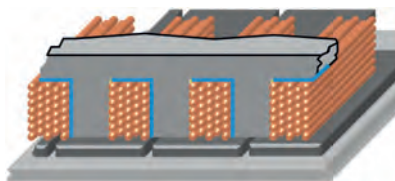


図 3. ETEL のパテントデザイン参考図

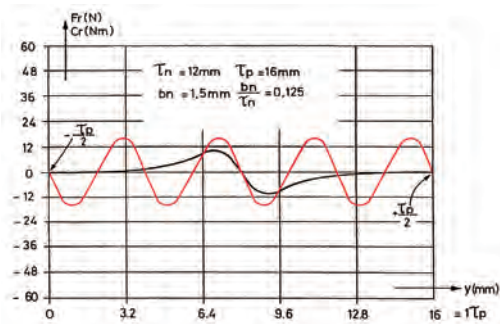


図 4. 従来品のコギング例 (赤線)

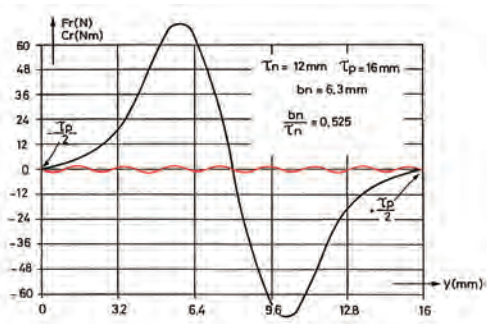


図 5. ETEL デザインのコギング例 (赤線)

3-2. マグネット技術

マグネット / コイルの磁界 / 磁束をシミュレーションにより最適化。TMK シリーズではロータ内部に磁石を複数埋め込み磁束を集中させることにより、マグネットを使用するよりも磁束密度を高める技術を確認。また、磁束を集中させるための部材も積層構造にすることで、ロータ損失も削減。さらに弱め界磁制御を有効に使用することで、高速回転、高トルク、低リップルを実現しています。TMKの最大速度は、同様のサイズの従来のトルクモータの3～8倍に達します。

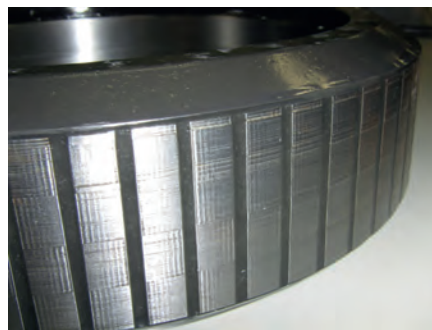


図 6. TMK シリーズのロータ

3-3. 温度管理技術

ETEL 独自の設計により熱伝達効率の高い水冷構造を実現。オプションとして専用の水冷ジャケットの用意があり、水の出入り口は軸方向および半径方向のどちらでも選択が可能です。水冷により効率よくコイルの発熱を取り除くことで機械構造部品への熱の伝達を抑えることができるため、機械の熱膨張を抑え加工精度の向上に寄与します。

またモータの温度上昇を監視するユニット IMTHP は、ETEL トルクモータの UVW 各相に配置された温度センサ情報とモータの熱特性から最も高い相の温度を正確に予測し、その温度情報をアナログ信号として、異常（エラー / アラーム）情報をデジタル信号としてコントローラに出力。モータ停止時や微動時に負荷がかかった際に発生する特定の相の異常を正確・高速に捉えることができるため、適正なサイズのモータを選定できるとともにそのモータの能力を余すことなく活用することができます。

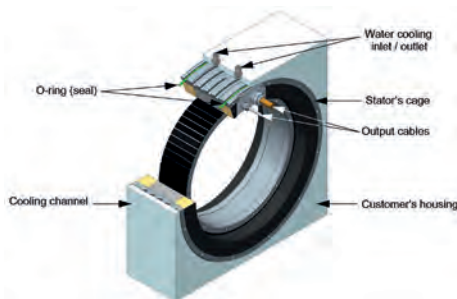


図 7. ETEL の水冷構造例



図 8. 温度検出ユニット IMTHP

4. おわりに

ETEL はハイデンハインが 100% 出資するグループ会社であり、技術的なお打ち合わせから、受注・販売およびアフターフォローに至るまで、現地法人のハイデンハインが対応することにより、満足いただけるサービスを提供いたします。



HEIDENHAIN ホームページ



ETEL トルクモータ (英語)



「現代秀歌」

著者：永田和宏

(出版：岩波書店)

本書は、歌人 永田和宏氏が「現代」と定める短歌の代表作を100首集めたものです。この本の構成は、①恋・愛 ②青春 ③新しい表現を求めて ④家族・友人 ⑤日常 ⑥社会・文化 ⑦旅 ⑧四季・自然 ⑨孤の思い ⑩病と死・・・と、章ごとにテーマが分かれており、紹介される歌や歌人について著者の解説がついています。

私は短歌を日頃嗜む人間ではないため、何を詠んだ歌なのかよくわからないことが多くあります。しかし解説があることによって日頃歌に触れていない人でも読むことができる本になっています。本を読むときに、驚きがある本を私は面白いと感じます。またその驚きが知らない世界を知らせてくれる驚きだけでなく、読み終えた後に心に残る何かがあると印象は一層深くなると思います。驚きをもって楽しみたいと解説からは読まず、1首ごとに「こういうことを詠っているのではないか？」と自分の考えをまとめてから解説を見るようにして、この本を読みました。

本書には例えば以下のような歌が集録されています。

“ 鳴外の口ひげにみる不機嫌な明治の家長はわれらにとおき ” 小高賢

解説を読みながら、そういうことが込められているのかと思ひ、しみじみと歌の面白さを感じることができました。そういった楽しみ方のできる本書ではあるのですが、「はじめに」と「おわりに」までをしっかりと読むと、この本への印象はガラリと変わってしまいます。

「はじめに」では本書の立ち位置を明らかにするために、姉妹編とされる「近代秀歌」との違いが語られている箇所があります。

著者の言葉によれば“「あなたが日本人ならこれだけは知っておいてほしい」という、いわば必要条件としての100首を選んだつもりである。それは、すなわち「日本人共通の知的基盤」の形成につながるはずだというメッセージを込めた”との言葉の通り、「近代秀歌」は文化的教養を与える教養本の位置付けがなされています。

それに対して本書「現代秀歌」は、100年、200年、そして千年と長い歴史のなかに残ってほしいと著者が思う、著者と同年代を生きた歌人とその代表作を集めた個人的なアンソロジーであるとされているのです。「はじめに」から10章までの間では、詠うことのすばらしさを著者は読者に語っています。歌を詠みつなぎ、残すことの意義が積極的に語られています。

しかし「おわりに」では残された歌の悲哀を読者に伝えているのです。歌人であり妻の河野裕子氏が病に伏し、10年間の闘病生活のなかで著者が感じた詠うことの辛さが語られるのです。妻の病状が悪化するなかで、自分がいかに妻を思っているのかを伝えようと詠おうとすれば、どうしても妻の死を前提にした歌になってしまう。死を目の前にする妻にその歌を詠むことは残酷なことではないかと葛藤する著者の姿が記されています。

読み終えたあと、それでも100年、200年、そして千年と長い歴史のなかに残ってほしいと著者が思う同年代の歌人と歌を本書に残すことにしたのはなぜなのかを改めて考えると、著者が本書で述べられてきた詠うことの意義を振り返ることになります。そうした考える余韻が残ることによってとても印象深い本となりました。

亡くなる前日、筆をとる力もなかった河野裕子氏が詠み、著者が聞き取り書き残したとされる1首にて書評を終えます。

“ 手をのべてあなたとあなたに触れたときに
息が足りないこの世の息が ” 河野裕子



日工機材株式会社
機械事業部 東京営業所
係長

石原 崇貴

私の好きなお店

株式会社日清機工
經理

石野幸子

皆様、初めまして。神奈川県相模原市にて機械工具商をしております、株式会社日清機工と申します。2023年11月に日本工作機械販売協会に入会いたしました。今後共、宜しく願い申し上げます。

今回、私をご紹介させて頂くお店は『博多もつ鍋 おおやま』です。

博多に旅行した際ご当地物を食べてみたい、地元の方にご紹介して頂いたのが『おおやま本店』でした。

当時の私はホルモン系があまり得意な方ではなかった為、食べてみたいと思う反面、不安もありましたが、実際食べてみると美味しさに箸が止まらなくなり、今では好物となっています。

地元に戻ってから味が忘れられず、調べたところ関東にも何店舗もあり、今では横浜の店舗へ“自分へのご褒美”と称し通っています。

横浜店では全室個室となっており、人目を気にせず食事会話も楽しめます。私は単品で注文することが多いのですが、コースの「山笠」も大人気です。

以下、私のお勧めをご紹介させていただきます。

もつ鍋 味噌味

九州味噌と西京味噌など数種類の味噌をブレンドし、昆布・鰹節から丁寧に取ったお出汁とおおやま特性のダレを加えた「濃厚美味（こゆうま）」味。味はしっかりめですが、最後まで飽きることのない味。且つ新鮮野菜や牛もつも食べやすい大きさ。プルプル食感で甘みもあり、自然と笑みがこぼれます。一緒に行く友人にもよりますが、追加1～2人前もしてしまうほどです。メのチャンポン麺も美味しいですが、私は具材を少し残して雑炊にするのが好きです。

柔らか牛酢もつ

豚もつではなく牛もつを使った珍しい酢もつは、薄切りでとても柔らかく食べやすいです。特製の柚子胡椒と一緒に食べると、また違う味わいで二通り楽しめます。

博多春巻

おおやま謹製明太子と高菜がぎっしり詰まっており、明太子好きには堪らない一品です。

大根サラダ

さっぱり和風味。箸休めにどうぞ。

店舗にもよりますが、予約をお勧めいたします。

お近くに寄った際は、是非とも足を運んでみてください。



外観



もつ鍋 味噌味



柔らか牛酢もつ・博多春巻



大根サラダ

博多もつ鍋 おおやま 横浜店

神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー
ドッグヤードガーデンB1F
TEL:045-228-8488
HP:<https://www.motu-ooyama.com>



工作機械と私



三菱商事テクノス株式会社
名古屋支社
産業メカトロニクス第二部長
兼 営業推進部長
高田 裕之

バブル崩壊後社会に送り出された私が就職したのは、町工場の営業でした。商品がよく壊れクレームが多く社長に改善を申し入れましたが、社長の返事は意外なものでした。「売れない理由を製品のせいにするな。うちはシェア No.1 で営業なんか居ても居なくても同じ！」社長の一言によりスイッチが入り、自分磨きのため商社への転職を決意しました。人材会社より紹介された会社の面接で「お客様は君の熱意と努力を買う」と、社長とは正反対な事を言われこの業界への入社を決意したのは27歳の時でした。

入社後暫くは上司が受注した商品をただ車に積み込み納品する毎日でしたが、納品先が世界的に有名な工作機械メーカで、積んでいたものが代表的な複合旋盤の専用ツーリングであった事を知ったのは入社して随分後でした。最初はおお客様の言われる事が殆ど理解できませんでしたが必死で食らいつき、そのメーカがJIMTOFで実加工するツーリングを選定出来る様になった事はその後の大きな糧となりました。

ある日、取引先から纏まった工具やツーリングの引合が有り対象機を尋ねると、F社を発注予定だが相見積が要るので、発注はしないが見積が欲しいとの事。前日に社内勉強会で対抗できるB社の知識を得ており、翌日にB社とツーリングの見積を提示するとお客様が喜んで下さり、業界3年目にして初めての機械受注となりました。その後、韓国の自動車部品メーカより会社に全自動ラインの引合が有った際に担当を申し出、初めて輸出案件を経験しました。L/C取引でしたが、銀行から届いた信用状には事前に聞いていない納期遅延時のペナルティや困難な工程能力が記されていました。悪い予感の的中し、輸出後残り10%の残金を盾に色々と言癖を付けられ何度も交渉に行きましたが、当時客先では契約のない条件を引き出すと出世できる風潮があり、検収は納入から1年後でした。この時の縁で、輸出した機械メーカの担当となり、彼らが受注する量産ラインの要素部品や周辺機器、加工用油圧治具や多軸ヘッドの設計製作、ロボット搬送システム、部品受託加工など多くの経験の後、縁あって42歳で現職に入社しました。

配属されたのは一転して金型業界のお客様が大半で、生産効率とは真逆の「原理原則」に基づいた日本の技を新たに知る事となりました。近年は補助金が多いのですがその制度上、売り手事情に偏った選定をしていますがちです。中小零細のお客様にとって使い易さは経営に直結します。単品加工のお客様に思い込みでNC機を選定し迷惑をお掛けした苦い経験も有り、経営コンサル的な知見も必要だと痛感しました。現在、自信を持って楽しく仕事出来ているのは、これ迄の様々な経験によるものです。近年は転職が容易となり身近でもITやコンサル業界へ転職する方が後を絶ちませんが、この業界でもそれらのスキルは必要となります。我々の仕事は本当に奥が深く終わりがありませんが、今後は人手不足やカーボンニュートラルなど人類の課題の解決に立ち向かう重要な役割を果たす、とても夢があり誇れるものです。若い皆さんにお伝えしたい事は、生き急ぐず今は仕事に没頭していれば、結果は後から必ず付いてくる。そう信じて日々果敢にチャレンジして欲しいという事です。私達も自身の経験を可能な限り共有し、皆さんとこれからの世界の為に少しでも役立ちたいと思っています。

会社生活に 於ける 私の初〇〇



三井住友ファイナンス&
リース株式会社
エリア営業部 副部長
伊藤 真

会社での私の初契約

1998年4月、世の中は金融不安の真只中で、前年には当時大手銀行であった北海道拓殖銀行が経営破綻し、同業のクラウン・リーシングが経営破綻する中、当時の大手リース会社であった日本リースに入社した。新入社員で配属されたのは、仙台支店。2か月間のOJTを終えると、担当する顧客も無い為、初契約を目指して、ひたすら仙台市内の優良先に飛び込み営業をしていた。

3か月ほどたったある日、地元の情報処理系の会社から、社内コンピュータ入替で総額約1,000万円のリース見積依頼を受けた。ようやく貰えた見積依頼ということで、当時の先輩社員や上司にも手伝ってもらい、何とか顧客に条件面での合意を得て、契約内諾に至った。新規先で、飛び込みから始めたアプローチだっただけに喜びも大きかったのを覚えている。

当時、私が在籍していた日本リースという会社は、のちに国有化となる日本長期信用銀行（長銀）の系列会社として、バブル期には長銀の別動隊としてファイナンス事業に注力し、バブル終焉となっていた当時は巨額不良債権を抱え、経営不安説が流れ、連日ニュース等でマスコミを賑わせていた。そのような状況下で、上司、先輩社員の協力を仰いで、何とか顧客の信用を得た上での初契約だったと記憶している。

1998年8月に無事にリース契約したコンピュータが納入され検収手続きとなり、1998年9月末日に購入代金の支払い予定であった。そんな中、突然悪夢が訪れる。

上述の通り、当時、巨額の不良債権を抱えて経営不安となっていた日本リースへの債権を、長銀が放棄し、同行へ公的資金を投入して救済するかの審議が国会で行われていたのだが、結果はご存じの通り。日本リースは9月27日に会社更生法を申請し、実質的に経営破綻する事となる。当時は負債総額約2兆3,000億円の日本最高額の倒産劇の渦中に引き込まれたのである。

私の初契約は、購入代金を支払う前に会社が倒産、裁判所の管理下で対応する事となる。当時私を信用して契約してくれた窓口担当者は責任を取る形で異動してしまい、契約先の社長も事務所に乗り込んで来て、購入代金の支払いについて問い詰められ、当時は新人で何も出来ない私は、ただ茫然としていたと記憶している。結果的には、購入先は、契約先の関連会社であった為、リースバックと同等の扱いで契約を成立させる為、裁判所から即時に購入代金支払いの許可が下り、損害を与える事はなかったのだが、顧客の窓口担当者が異動させられていた為、複雑な心境であった。私の社会人初契約は何とも強烈な印象のまま、今でも心に強く残っている。



私の 健康法



株式会社ジェイテクト
工作機械・システム
グローバル営業部
営業企画室 商品企画G
グループ長
三好 崇博

5年前に駐在から帰国した頃には40才を超え、学生時代から続けていた運動も忙しさを理由にすっかりやらずじまいになりいつのまにかお腹もぼっこりして、過去最高の体重を更新し続けることに違和感がない毎日を過ごすようになっていました。

帰国後は美味しい日本食でさらに体重も増え、帰国時に新調したスーツがほぼ着られない状態になり、さすがにもう一度新調するのは家族にも申し訳ないと思い始めた頃です。転機となったのは22年の年末、駐在中に発症履歴のある肺血栓の初期症状を数日前から感じるようになり、仕事納めまであと2日間という時に、歩くだけでも息が切れるようになったので、病院へ行くことにしました。検査の結果、案の定入院となったのは12月27日のことです。

初日を集中治療室で過ごし2日目からは一般病棟に移動しましたが、年越しを含め約3週間の入院治療で、楽しみにしていた年末年始の旅行も行けず、年明けの仕事始めにも間に合わず、家族にも会社にも迷惑をかける結果となってしまいました。

唯一幸いだったのは3週間の入院食生活で体重が3kg 減量したことです。

メタボ領域に入ったお腹周りをもとに戻し、自己管理のできた健康的な社会人へ復活したい。そしてスーツを買い替えしないようにと減量を決意します。

入院生活の結果からまず食生活の改善を図りました。会社でお昼の食堂を利用することをやめました。麺類が好きなのでほぼラーメンかうどんを選択し、更にライスを取ってしまう誘惑の機会を断ちました。昼食は奥さんにお願ひ高校生の娘と同様にお弁当を作ってもらうようにしたのです。平日夕食は白米とお酒を控えることで必然的に食後のお菓子のつまみ食いも減りました。これを継続することで退院後も順調に減量が進み、2か月後には更に4kg 減量します。季節が暖くなってきて、もともと運動も好きだったこともあり、せっかくなので学生時代の体型を目指しランニングも始めました。早起きして出勤前に走ります。徐々に条件をあげて年間累積は1,800km/285回/年に達しました。入院前よりも累計10kg 減量しほぼ学生時代の体形に戻りました。その間、毎日体重計に乗って少しずつ下がる体重を確認することが楽しかったですし、着られなくなった服やスーツがまた着られるようになったことがうれしかったです。みんなに「痩せたねー」って言われつつ、会社のランニング仲間との会話も弾みました。今までよりも仕事へ取組む姿勢が前向きになった気がします。

現在は体重も落ち着きましたが、食事改善とランニングは今でも続けています。

ランニングは思いかけない副効果として重宝しています。音楽を聴きながら無理のないマイペースで走るので、どうしても仕事のことを考えがちです。

しかしここで色々なアイディアが浮かび、当日の仕事で実践すると上手くいくことが増えました。考える機会とクセがつかまりました。

早起きして走る分、夜は眠くなりますから適度な時間で仕事を切り替えメリハリもつくようになりました。

これからもできるだけランニングとお弁当生活を続け、仕事と私生活によりよい環境を維持して楽しんでいきたいと思っています。

リレー随筆



株式会社テツカ
浜松営業所

井口大河



皆様、初めまして。株式会社テツカ 浜松営業所に所属しております井口大河と申します。

この度、株式会社ジーンネットの近藤様より伝統ある「リレー随筆」のバトンを回して頂きました。本投稿の依頼を受けた際、皆様は何をお伝えするべきか考え悩みました。そこで貴重な機会ですので私の地元「熊本県」についてご紹介できればと思います。

私が生まれ育った熊本県は九州の中心に位置し、「火の国」と呼ばれています。その背景には、世界有数のカルデラを誇る阿蘇山があるからだと言われています。阿蘇の活火山から生み出された美しい山々や草原などの景色は見る人全てを魅了させます。そんな大自然の中で営まれてきた歴史や文化は長きに亘り、神々の神話にまつわる場所が多いのも特徴です。また、阿蘇山の噴火によって形成された地層の賜物の湧水は県内に1,000か所以上確認されています。水資源の宝庫ということで「水の国」とも呼ばれています。

湧水は美味しい農産物や熊本だけの食文化にも影響をもたらしてくれています。やはり熊本の食といえば「馬肉」です。馬肉は加藤清正公が広めたとされています。他にも熊本県にしか存在しないとされる^{タイビーエン}太平燕や辛子蓮根、阿蘇のあか牛、天草の海鮮などさまざまな食が楽しめます。

他にも温泉も全国屈指です。県内各所で温泉が湧きその数は100以上です。県北には山鹿温泉や玉名温泉、阿曾地域には黒川温泉、県南には日奈久温泉や人吉温泉など県内のいたるところで温泉を楽しむことができます。私も黒川温泉や人吉温泉に何度か訪れたことがありますが、広大な山々に

囲まれた露天風呂は何とも言いえない気持ち良さでした。実家へ帰省した際はまた寄ってみたい観光地です。

そんな魅力溢れる熊本県で22年間育った私ですが、大学2年生の頃からサウナにはまっております。きっかけは友人に熊本で有名なサウナ施設に誘われたことでした。そこで受けたアウフグース（サウナストーンにアロマ水をかけ、蒸気を発生させてその蒸気をタオルであおいで熱風を受けること）が今までにない気持ちよさで虜になってしまいました。その後サウナ施設に通うようになり、大学3年生の時にサウナ施設でアルバイトを始めた。

勤務前や勤務後、シフトがない日でも好きな時にサウナが使い放題でしたので至福の時間でした。アウフグースを行うバススタッフではなく、フロントでの業務でしたがたくさんの人の案内をすることでお客様を相手にする際に大切なことを多く学ぶことができました。

また、話が全く変わってしまいますが私は9歳の時から野球をしていました。野球を始めたきっかけは2009年のWBCをテレビで見ると小笠原選手に憧れたからです。鬼のような監督とコーチのおかげで技術的にも精神的にも成長することができたので、当時どのように思っていたか忘れてしまいましたが今では感謝の気持ちでいっぱいです。野球を通して育てて頂いた体力と精神力で精一杯仕事に取り組んで参ります。

▶次号はヤマザキマザックトレーディング株式会社 中日本販売部営業1エリアの奈須峻平様をお願いをしました。今回のリレーも急なお願いを引き受けてくださりとても頼りになる方です。



海外 だより

「驚きと勉強の毎日」

TAISEI TECHNO (THAILAND) CO.,LTD
Managing Director
下田 栄介



From Thailand

2013年11月より、パタヤ近郊にオフィスを構える株式会社大成のタイ現地法人 TAISEI TECHNO (THAILAND) に駐在しております。

工作機械関係の販売をタイ国内にて行っております。

この度は海外だよりの寄稿の機会を頂きました事、感謝しております。

今年で11年目を迎えるにあたり、タイでの海外生活を振り返り少し話をしたいと思います。



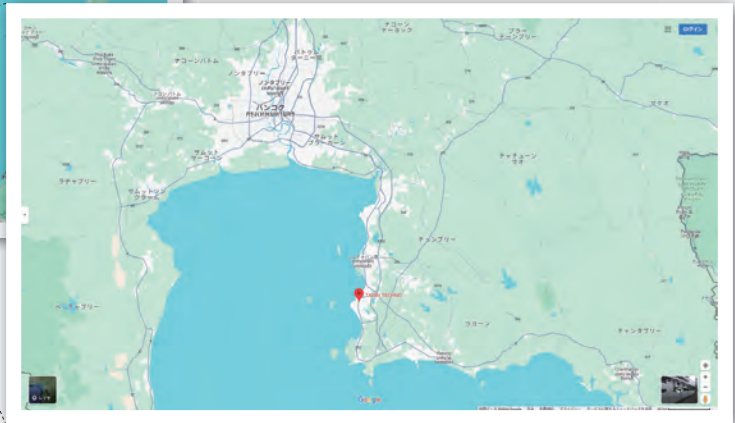
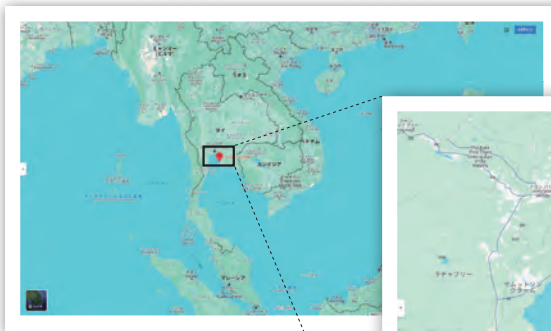
今回のタイ国赴任で4回目の海外赴任となります。

タイ国赴任は先程申しました様に11年目を迎える訳ですが、最初に印象に残った事はゴルフに行く際早朝に町のはずれを車で走っていると托鉢を行う僧侶を見かけた事でした。日本では名古屋に在住しておりましたが、ほとんど托鉢など見かけた事が無く仏教色が強い国なのかなと思ったことを記憶しています (Big Buddha Day なるものが年に数回あり基本的に禁酒日です)。

次はやはりコロナ禍がタイ生活の中にて印象深く残っています。移動制限、夜間外出禁止、飲食店の無営業と生活に日常業務にかなりの影響を与えました。

私が思うに、現地の人々はもともと普段から衛生管理と言う概念があまり有りません。

政府指導のもとマスク着用、アルコール消毒が日常化されていく様子を見ると感慨深いものを感じました。



さて、ここで少し私が暮らすパタヤについて簡単に紹介させていただきます。

ご存じのようにここパタヤは東南アジアにて数ある歓楽街で、ウォーキングストリートなどで知られる有名な土地です。

基はベトナム戦争時米軍が保養地として作り上げた町との話をよく聞きます。コロナ禍で激減した観光者も現在は戻り毎日観光者でにぎわっております。

観光者も年々変化を見せていますが、駐在した当初は韓国、順にロシア、インド、ヨーロッパ諸国、中国からの観光者が多く訪れていました。

その都度看板の文字が変化していくのを見ると観光の街と感じます。

近年は中国よりの観光者が最も多く、町中を賑わせています。

またゴルフを目的に訪タイをする方も多く、例年旧正月前後は多数の人が訪れています。

円安の関係だと考えますが、ゴルフ場にて少し寂しく思うのは、例年多数の日本人旅行者が訪れるものの、昨年より減少している様に感じられることです。

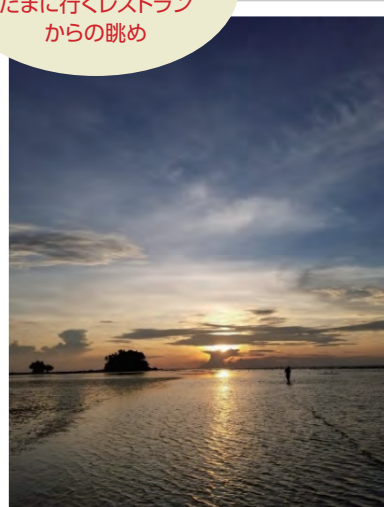
業務で訪れる邦人も多数ですが、此方パタヤ近郊ではシラチャに訪れる方も多くいらっしゃいます。

ここは私が思うにほぼ日本人街です。いずれかの機会にまた紹介させて頂きたく思います。

プーケットのゴルフ場：
パタヤ近郊の
ゴルフ場とは趣が違い
難易度が高い



パタヤの夕日
(Jomtien Beach)：
たまに行くレストラン
からの眺め



最後になりますが少し業務のお話をしたいと思います。

当社オフィスはパタヤに有り私もパタヤに在住しておりますので、通勤時間は短く多くの駐在員の方よりは恵まれた環境にあります。

機械商社として工作機械の販売を行っておりますが、それに伴う修理・改造・機械オーバーホール・機械移設なども行っております。“1ストップサービス”の目標を掲げ、工場の建築、補修なども承っており従業員一同努力しております。

しかし、やはりタイ人との商談・打合せ等々、あたり前のことですが商習慣や言葉など10年以上滞在していながらも驚きと勉強の毎日です。

今ほど世の中便利になっていない時に現地に赴任された方を思うと感慨深いものがあります。

日々驚きと勉強の毎日ですが、業務を通じ少しでも商社として従業員一同お役に立てればと思い日々の業務に邁進しております。

自社
紹介

我が社の履歴書



フリガナ	オカヤキハンカブシキガイシャ
社名	岡谷機販株式会社

本社所在地	設立	資本金	代表者
〒454-0823 愛知県名古屋市中川区 富船町4-1 岡谷富船物流センター2F	平成8年 10月1日	5,000万円	代表取締役社長 蒲 貴雄

皆さま初めまして岡谷機販株式会社の江津と申します。このたびは「自社紹介」コーナーへの寄稿の機会を頂き、誠にありがとうございます。

当社は1669年創業の岡谷鋼機株式会社の子会社であり、多くのお取引先を引継ぎ工作機械・機械周辺機器・切削工具などをメインに卸売業をしております。岡谷機販株式会社としては29期目となり、名古屋・安城・三重・東京・大阪・北陸（富山）の全6拠点で従業員は44名。岡谷鋼機株式会社の時代から1アイテム1メーカーをモットーにメインメーカー様との長い歴史に裏付けされた信頼関係を背景に日々販売に励んでおります。

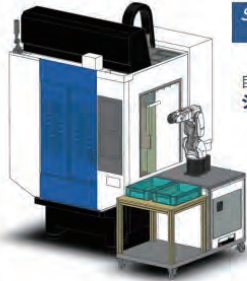
当社も昨今のものづくり企業の人材不足や生産性の向上、品質の安定などの観点から需要が高まっている自動化・省人化設備への取組みを新規開拓分野として活動を開始しました。株式会社不二越様が小型ロボットMZシリーズを販売開始した時期と重なり、協業をしながら進めて参りましたが当初はなかなか販売に至りませんでした。それでも新規事業と捉え、さらに取組みを加速させるべく専任者を採用し、従来の営業マンも刺激を受けながら多種多様な設備を仕立て販売しております。少しずつですが信頼できるSier様も増え、ユーザー様の要望に沿ってSier様を選定し最適なソリューションをご提案出来る様これからも精進いたします。

この度、業界最後発だとは思いますが、ブラザー工業株式会社様と株式会社近藤製作所様にご協力いただき、株式会社不二越製多関節ロボットを含めたパッケージ商品もご用意いたしました。ブラザー工業株式会社製マシニングセンタSEEDIO「S500」へのワーク投入・排出の簡単な機構ですが、ワンセルの加工機には低予算で始めやすい仕様になっております。是非お問い合わせください。

その他、カーボンニュートラルを見据えた省エネに寄与するもの、AIを活用した画像検査など日々進化する技術をより早くキャッチアップしてユーザー様の多様なニーズに最適解を提供していきたいと思っております。

SIMPLE & COMPACT

CONNECT
未来へ繋ぐ
岡谷機販株式会社



SPEEDIO S500Xd1 ローディング パッケージ

自動化導入の第一歩！！
シンプルな構成で低コストを実現！！

- POINT 01 >> ワーク搬送に特化
- POINT 02 >> シンプル設置
- POINT 03 >> カスタマイズ性

省スペース運用が可能な
コンパクトなシステム！！

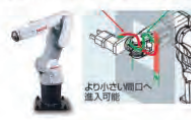
圧倒的な加工速度

業界最高性能を持つ工作機械を採用
新制御により速度、生産性、使いやすさが向上。



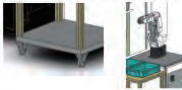
豊富な関節ロボットによる自由度

可動範囲の広い6軸多関節ロボットを採用
自由度の高い搬送が可能で、狭所での作業も可能。



省スペースに対応したレイアウト

ロボットは台車に一体取付、台車は移動可能
工作機械との連結は専用アタッチメントで固定。



豊富な周辺機器

周辺機器を組み合わせる事により
ユーザー様様にアレンジする事も可能。



私も入社してから19年が経ちました。入社時とは販売している商品も変わり、商品のサイクルも早くなり特にデジタルなものには付いていくのが精一杯ですが、これからも JIMTOF を始めとして様々な展示会に参加し最先端の情報をお取引先様やユーザー様にお届け出来るようにアンテナを高く日々精進したいと思います。

最後になりますが3月1日付けで社長交代の人事がありました。蒲新社長のもと社員一丸となって足元の難局を、変革の過渡期を乗り越えていきたいと思っております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



岡谷機販株式会社
取締役
東京営業所 所長
江津 由兼



統計資料

工作機械・FA流通動態調査1

統計1

単位) 百万円

37社合計		受注					売上				
調査月次		2024/03	前月比	前年比	2023/04 ~2024/03	前年度比	2024/03	前月比	前年比	2023/04 ~2024/03	前年度比
広義の工作機械	工作機械	22,170	41.8%	-10.1%	247,158	-23.7%	35,254	60.5%	-12.2%	293,164	2.6%
	ロボット・自動化機器	4,250	56.4%	19.0%	28,955	-7.6%	4,681	129.4%	-9.5%	26,402	9.2%
	CAD/CAP・自動プログラム	343	-46.4%	-18.7%	3,657	20.9%	454	-19.7%	13.6%	3,637	24.1%
	鍛圧・プレス・溶接	991	77.5%	-78.6%	18,179	-29.0%	2,424	125.2%	-3.7%	23,331	88.2%
	ダクト・押出・射出	668	23.7%	9.0%	9,119	-18.9%	530	-3.5%	-54.0%	10,248	-25.1%
	小計	28,421	41.4%	-16.1%	307,068	-22.3%	43,342	65.5%	-12.3%	356,781	5.2%
	工作機械以外の扱い商品	37,845	16.5%	40.2%	372,102	5.6%	50,556	69.7%	14.6%	383,123	10.2%
	合計	66,266	26.0%	8.9%	679,170	-9.2%	93,898	67.7%	0.4%	739,904	7.7%
	従業員数	1,636	0.6%	3.0%							

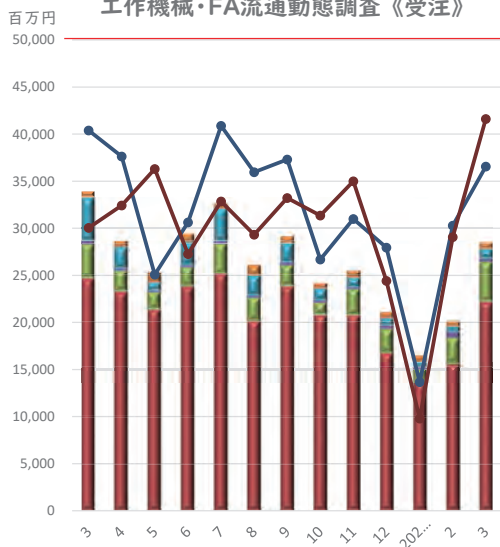
統計2

単位) 百万円

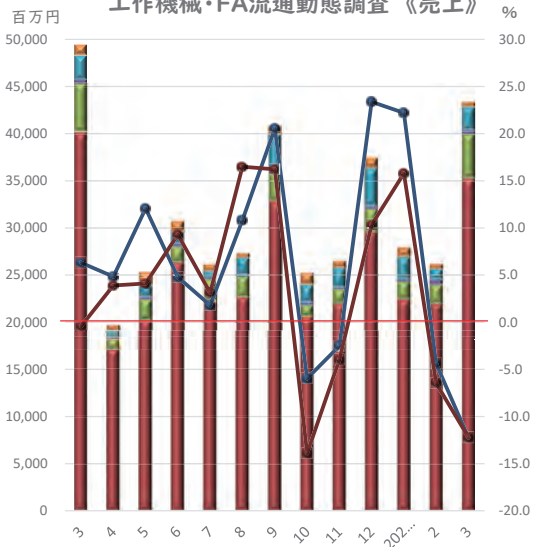
28社合計		受注					売上				
調査月次		2024/03	前月比	前年比	2023/04 ~2024/03	前年度比	2024/03	前月比	前年比	2023/04 ~2024/03	前年度比
内訳	直販	31,751	59.6%	20.6%	290,692	1.8%	45,254	116.0%	16.0%	300,239	16.2%
	(内リース)	350	-24.8%	-65.5%	6,953	-26.1%	1,377	100.7%	28.0%	10,837	11.1%
	卸	7,095	14.2%	-15.6%	85,522	-25.5%	12,396	40.9%	-6.4%	103,237	-1.7%
	輸入	3,847	147.6%	31.2%	40,421	26.9%	5,529	63.9%	39.5%	35,223	19.2%
	輸出	11,844	-28.5%	-3.5%	164,046	-14.3%	13,411	8.8%	-34.5%	180,010	-3.7%
	(内間接輸出)	2,705	154.8%	168.0%	17,873	-13.7%	3,256	193.4%	79.9%	20,981	-3.2%
	従業員数	1,158	0.7%	3.9%							

注: 会員80社中、統計1に関しては37社、統計2に関しては28社の回答を得て集計したものである。
折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比であり、データ提供会社総数は40社である。

工作機械・FA流通動態調査《受注》



工作機械・FA流通動態調査《売上》

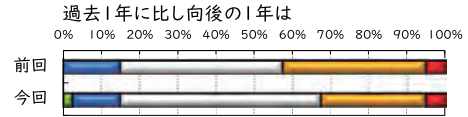
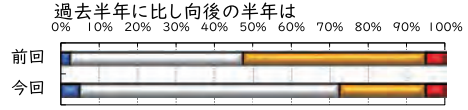
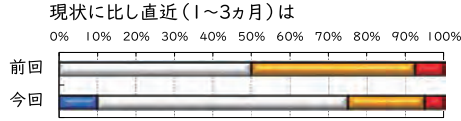
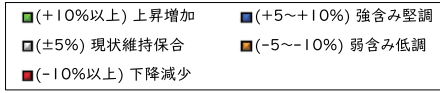


- 工作機械
- ロット・自動化機器
- CAD/CAM・自動プログラム
- 鍛圧・プレス・溶接
- ダクト・押出・射出
- 広義の工作機械前年対比 (%)

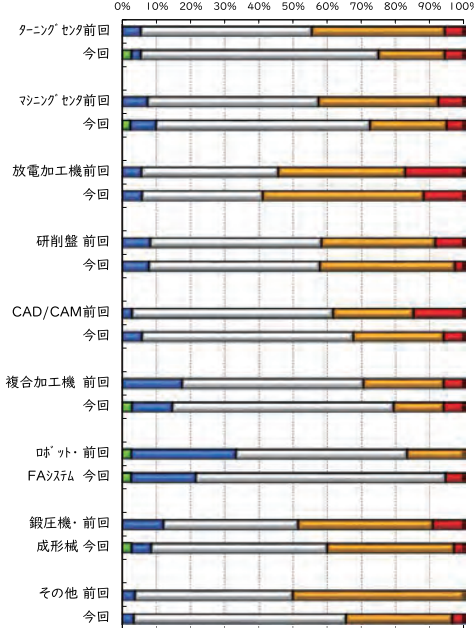
工作機械・FA流通動態調査2

今回2024年4月調査／前回2024年1月調査対比

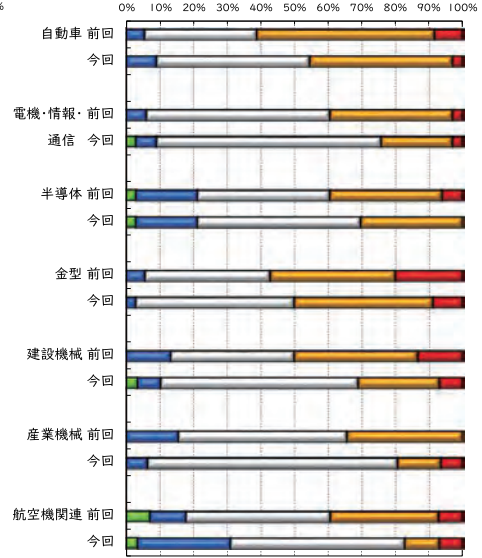
1. 工作機械全体見通し



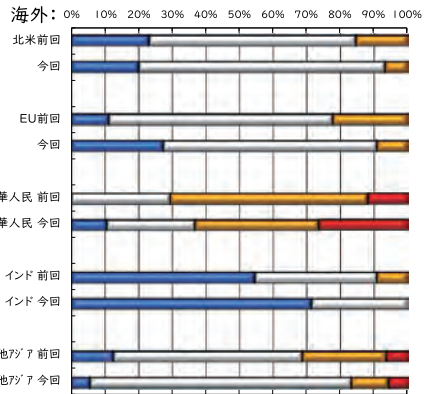
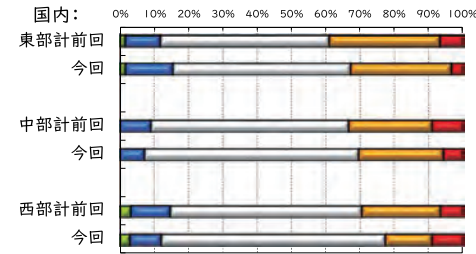
2. 製品別向後約半年の見通し



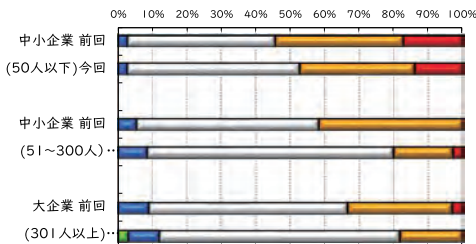
3. 市場別向後約半年の見通し



4. 地域別向後約半年の見通し



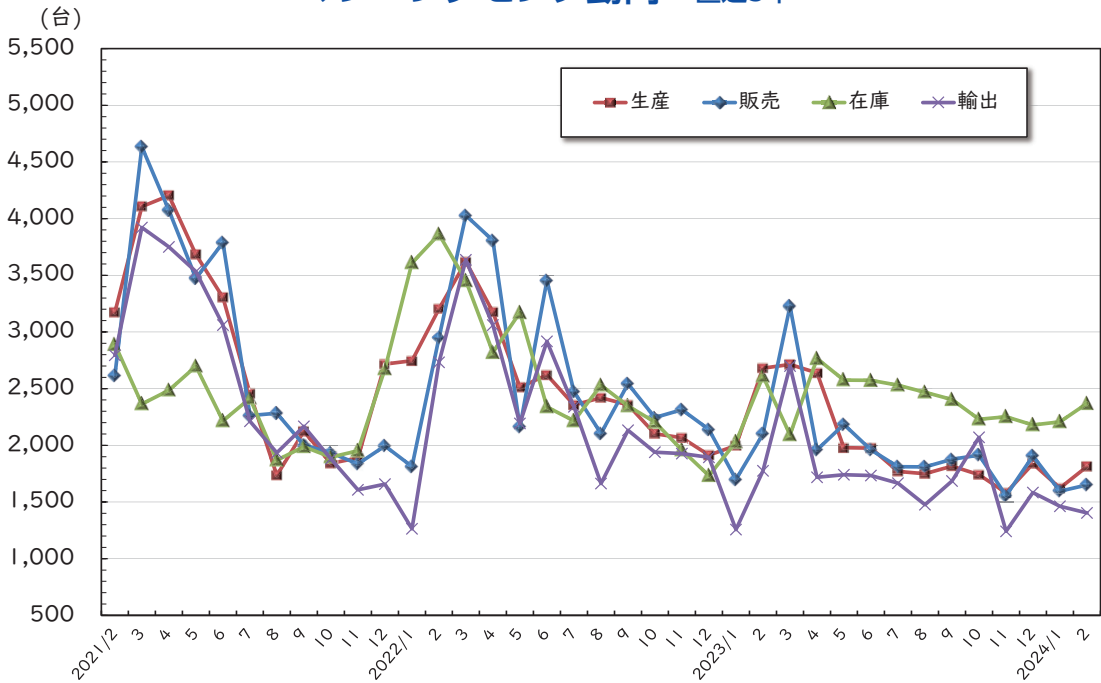
5. ユーザー規模別向後約半年の見通し



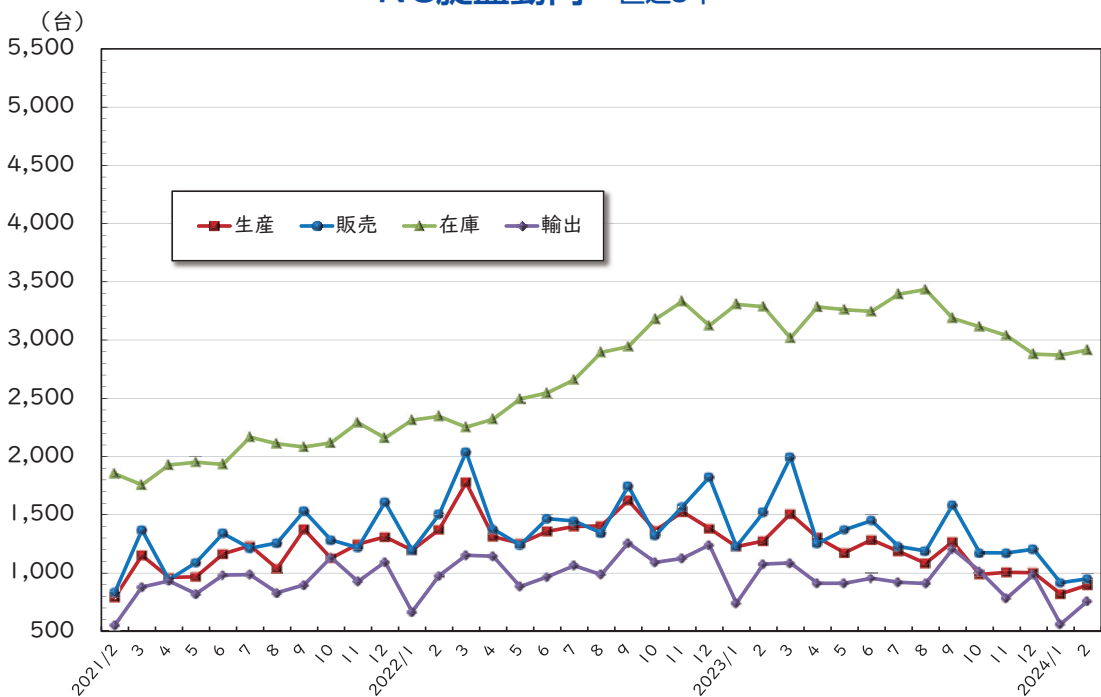
注:調査データは日工販ホームページをご覧ください。

見てわかる 3年間の代表2機種トレンド

マシニングセンタ動向 ~直近3年~



NC旋盤動向 ~直近3年~



出所：経済産業省「生産動態集計」、財務省「貿易統計」

工作機械業種別受注額(2024年3月)

2024年4月18日発表

(単位：百万円)

需要業種	期間	23年累計	前年比	23/10-23/12累計	24/01-24/03累計	前期比	前年同期比	24/01-24/03累計	前年同期比	03月分	前月比	前年同月比
機械製造業	1. 鉄鋼・非鉄金属	16,345	83.1	2,776	3,748	135	76.2	3,748	76.2	2,216	311.7	170.9
	2. 金属製品	36,813	72.8	7,010	9,444	134.7	83.1	9,444	83.1	4,748	207.5	87.0
	3. 一般機械	203,557	83.6	41,036	45,992	112.1	81.2	45,992	81.2	19,778	141.9	90.9
	(うち金型)	28,189	81.8	5,116	5,321	104	62.9	5,321	62.9	1,477	80.4	42.1
	4. 自動車	100,588	74.7	26,103	23,208	88.9	94.3	23,208	94.3	9,532	143.1	108.3
	(うち自動車部品)	73,519	79.1	19,047	17,098	89.8	95.4	17,098	95.4	7,144	153.5	110.5
	5. 電気機械	36,272	63.7	5,618	9,582	170.6	76.3	9,582	76.3	4,800	200.8	132.0
	6. 精密機械	21,430	72.6	5,793	5,506	95	84.6	5,506	84.6	2,345	158.1	104.7
	5~6. 電気・精密計	57,702	66.7	11,411	15,088	132.2	79.2	15,088	79.2	7,145	184.5	121.6
	7. 航空機・造船・運送用機師	20,172	107.0	6,030	4,974	82.5	98.8	4,974	98.8	1,768	95.6	96.5
	(うち航空機)	8,509	146.9	2,631	2,310	87.8	104.1	2,310	104.1	824	99.4	102.5
	3~7. 小計	382,019	79.0	84,580	89,262	105.5	84.8	89,262	84.8	38,223	145.2	99.9
	8. その他製造業	22,867	87.1	5,607	5,070	90.4	102.6	5,070	102.6	2,157	130.6	136.9
9. 巨公需・学校	1,977	89.7	536	419	78.2	186.2	419	186.2	158	151.9	205.2	
10. その他需要部門	12,165	86.3	2,751	3,212	116.8	77.6	3,212	77.6	1,223	108.2	52.8	
11. 商社・代理店	4,635	67.2	1,331	1,248	93.8	156.4	1,248	156.4	532	156	141.9	
1~11. 内需合計	476,821	79.0	104,591	112,403	107.5	85.3	112,403	85.3	49,257	151.4	99.8	
12. 外需	1,009,698	87.3	250,449	248,415	99.2	94.6	248,415	94.6	86,393	105.8	94.3	
1~12. 受注累計	1,486,519	84.5	355,040	360,818	101.6	91.5	360,818	91.5	135,650	118.8	96.2	
(内NC機)	1,463,024	84.7	349,641	355,691	101.7	91.6	355,691	91.6	134,024	119	96.4	

販売額	1,616,581	103.1	405,723	389,590	96.0	88.2	389,590	88.2	163,862	139.2	84.8
(内NC機)	1,591,253	103	399,214	382,228	95.7	87.7	382,228	87.7	160,681	139.4	84.5
受注残高	785,775	87.6	785,775	757,003	96.3	89.2	757,003	89.2	757,003	96.4	89.2
(内NC機)	760,531	87.5	760,531	733,994	96.5	89.3	733,994	89.3	733,994	96.5	89.3

出所 (一社)日本工作機械工業会

日工販SE合格者 第247回発表

2024年3月～5月の合格者は12名です。

2024年3月 合格者数：1名

認定No.	会社名	合格者名
24-33-3999	(株)不二	市川 直希

2024年4月 合格者数：6名

認定No.	会社名	合格者名
24-33-4000	(株)東陽	小林 史弥
24-33-4001	(株)不二	小楠 将之
24-33-4002	(株)井高	塩崎 由生
24-33-4003	(株)日研工作所	藤本 真一
24-33-4004	三菱電機(株)	鈴木 勝馬
24-33-4005	三菱電機(株)	立石 義人

2024年5月 合格者数：5名

認定No.	会社名	合格者名
24-32-4006	ユアサ商事(株) 関西支社	三原 寛史
24-33-4007	(株)小林機械	長谷川 恵央
24-33-4008	(株)東陽	脇田 康介
24-33-4009	(株)東陽	榊原 康平
24-33-4010	(株)不二	松嶋 祐太

お知らせ

日工販ニュース表紙写真の公募について

日工販ニュースを楽しく、また手に取っていただきやすい機関誌にしたいという思いから、表紙にその季節折々の写真を掲載することとしています。

そこで、以下要領により読者の皆様から表紙写真を公募しますので奮ってご応募ください。

1. 対象写真

年5回の発刊月（5月、7月、11月、1月、2月）に合わせた写真（1枚以上）

※複数枚ご送付いただいた場合は、選定は事務局にて実施します。

※被写体は「風景」にこだわりません。季節を感じさせるものであれば何でも可。

2. 送付手段

以下要領により、電子データにてご送付をお願いします。

①日工販事務局宛てメールに添付：jmta@nikkohan.or.jp メール件名：【《日工販ニュース》表紙写真（応募）】

②大容量ファイル配信ツール（「FireStorage」など）等の利用で送付

③USBやCD等による送付（媒体返却を希望する場合は「返却要」のメモを同封してください）

※上記いずれの場合も、以下事項を必ず添えてください。・「撮影された方の会社名・所属部署・役職・氏名」・「掲載希望発刊月」・「撮影した場所や対象（風景の場合）、あるいは写真のタイトル」

3. 採否の連絡

採用された写真をご送付いただいた方には、当該写真が掲載された「日工販ニュース」および御礼としてQUOカードを送付させていただきます。採用の連絡は発送を以て代えさせていただきますが、後々の掲載に備えてご送付いただいた写真は事務局でストックしていくため、適用月に掲載されない場合でも不採用の連絡はいたしませんので予めご了承ください。





議事録

第309回定例理事会議事録

日 時：2024年3月6日（水）14:30～16:33
場 所：マイドーム大阪第三会議室（Web 併用）
出席者：副会長2名、副会長代行、専務理事、理事22名、監事2名

[付議事項]

(1) 2024年度日工販会費：

新型コロナウイルス感染症の影響下において活動が縮小したこと、また2023年度には活動再開もその剰余金額に照らし、会費の暫定措置を続けてきたが、2023年度決算では、13百万円程度の赤字が見込まれること、また協会活動もコロナ前に戻っていることから、正会員・賛助会員の会費の暫定処置を中止し、2024年度から元に戻す。但し、会費改定は総会決議事項であるので、4月から暫定適用し総会後正式に適用する。尚、年度途中で売上高調査も行うので、その結果による調整も行う予定。

専務理事より説明。全員異議なく了承された。

(2) 2024年度新体制：

本件は決議事項ではなく報告事項であるが、副会長人事について、東部地区は金子副会長の理事辞任に伴い島津理事に、また西部地区は岡本副会長代行に、それぞれ就任してもらう方向で調整したい。

地区委員長はすべて留任。総務委員長は岡田理事、調査広報委員長は久富理事に願う。

尚、副会長人事は総会決議を必要とする。

専務理事より説明し特に質問等なく了承された。

[報告事項]

(1) 2023年度決算の進捗状況について：

ご承知の通り、事務局の経理担当職員の突然の体調不良により後任への引継ぎがほぼ全くなかったことから、決算業務の進捗は遅れており、9月末の数字がようやく出てきた段階。また管理費目間の見直し等が必要な状況でもあり、会計士による監査が終了した数字ではない。但し、数値検証の上で銀行残高との一致は確認している状況。

今後スケジュール的には4月末までには年度末監査を終え、5月理事会に上程、6月総会で承認にもっていく所存。

(2) 西部地区研修会（1/24）：

西部地区委員長から説明。講師は日本総研・藤山光雄先生。テーマは「関西経済の現状と展望」。まず世界経済の行方については25年以降は安定の方向に向かうとみるが、米国でのトランプリスク（景気悪化要素が多い）、中国でのデフレ圧力などには要注意。

関西経済は中国の影響が強く製造業は弱含み、自動車産業の今後の回復が期待されるが関西はその影響を受けにくいなど下押し圧力はあるものの、全体としては緩やかに回復傾向とみている。課題として観光需要において、訪れる観光客は多いものの滞在日数や消費が少ない。万博もあるが観光コンテンツを見直すこと、また、若年層の転出を抑制する必要がある。（報告詳細は日工販ニュースに掲載）

(3) 東部地区工場見学会（2/19～20）：

東部地区委員長から報告。第一日（株）岡本工作機械製作所・シチズンマシナリー（株）参加者19名。

第二日(ファナック株)参加者 22 名。(株)岡本工作機械製作所は「世界で唯一の総合砥粒加工機メーカー」として 2022 年度の平面研削盤のシェアは国内 52%。半導体関連が好調。タイに鋳物工場あり。

シチズンマシナリー株は全世界で 500 ~ 600 台 / 月の販売。御代田工場では 250 台 / 月 MAX であるが、現状国内向けはカスタマイズが殆どで手間がかかる故 120 台程度で推移。2030 年には売上 1,000 億円を目指す。

ファナック株においては 5 工場を見学。耐久試験工場では他社で例を見ないと思われる連続稼働試験をやっており、ロボットがロボットを組み立てる工場は残念ながら稼働停止中だったが、生涯保守を掲げ、相当古い機械でも修理可能な状態に保てるように部品等を揃えているところも見学した。

3 社それぞれ特色があり興味深い工場見学となった。若い人が多く参加。

(4) 中部地区工場見学会 (2/26) :

見学先は京セラ株及びダイキン工業株。参加者 33 名。京セラ株ではチップやドリルの生産現場を見学。DX を積極的に活用し生産の効率化を推進。各人に携帯電話を支給し作業手順等は QR コードの読み取りで確認・加工物を AI で判断し補正をかける等。

ダイキン工業株は本年創業 100 周年。売上は今年恐らく 4 兆円超。エコキュート好調。3 日ごとに生産計画を見直す変種変量生産。また AGV を多数使い搬送の自動化が進んでいる。

3 ~ 4 年ぶりの工場見学開催であったが、見るべきものは多かった。

(5) 教育委員会報告 :

2023 年度各社のご協力で大勢の講座参加あり深謝。2024 年度受講予定調査結果の説明。4 月に基礎、8 月に SE、9 月に更新の募集要項を出すので、是非各社奮ってご応募を頂きたい。3 月 11 日に本年度の教育委員会を開催予定。

(6) 流通動態調査 :

専務理事より説明。受注額、特に 1 月は過去 2 年間見ても最低の数字で心配。

第310回定例理事会議事録

日 時：2024 年 5 月 8 日 (水) 14:00 ~ 16:30
場 所：マザックアートプラザ CD 会議室 (Web 併用)
出席者：会長、副会長、専務理事、理事 22 名、監事 3 名

会長挨拶の後、審議に入った。

[付議事項]

(1) 第 55 回総会議案の件 :

1. 第一号議案の① (2023 年度事業報告)
専務理事より一部を讀上げ、全員の了承を得た。
2. 第一号議案の② (2023 年度決算報告)
専務理事より、残念ながら本日の理事会までに数字が固められず、後日、持回り理事会にてご承認を頂きたい旨説明。
3. 第二号議案の① (2024 年度事業計画案)
専務理事より説明。従来通りの計画に加え、今年は JIMTOF2024 参加を新しい事業として記載。全員の了承を得た。

4. 第二号議案の②（2024年度予算案）

専務理事より、予算案は2023年度決算数字との対比で示すので、決算が固まった後日持回り理事会に諮りたい旨説明。本日は仮の予算案を提示したが、JIMTOFの予算を調査広報委員会に加算しておらず、150～160万円程度を本日提示の仮予算に加算するなど、再度精査の上、説明を付して持回り審議に再提示する。

5. 第三号議案：

副会長選任の件。専務理事より説明し全員異議なく了承。

6. 第四号議案：

会費の件。専務理事より説明し全員異議なく了承。

(2) 新規賛助会員入会の件：

1. 二村機器(株)

2. (株)長谷川機械製作所

専務理事より資料を基に説明し全員異議なく了承。

今回新規賛助会員が2社加入することになったが、報告事項にある通りリース会社2社から退会の申し出あり、賛助会員総数としては増えないことになる。

(3) 会長表彰：

専務理事より、次回総会での会長表彰者対象は、坂井俊司理事及び小島徹理事であることを説明し全員異議なく了承。

[報告事項]

(1) 2023年度決算の進捗状況について：

専務理事より説明。会計ソフト上の三月末残高と、銀行残高が一致しているところまでは進捗しているが、管理会計上若干のずれがあり、最終版を出すところに至っていない。来週末までにはご提示したい。

(2) 教育委員会 (3/11)

池浦教育委員長から説明。会員会社から教育委員会のスタッフを派遣いただき熱心な討議をしている。

講師の評判も含めて今後どうあるべきかを議論した。

いくつか課題もあるが、講座に参加する受講生は例えばリース会社や営業以外から移ってきた人とか、工作機械になじみの薄い方にも早く慣れて頂き概要を知っていただくにはまさにうってつけの受講内容であり、工作機械専門商社は兎も角、大手で工作機械の取り扱いが全体の一部の会社の社員でゼロからスタートしようという方にも照準を合わせてしっかり講義を行っていく。先ほどもちょっと触れたが、これから講師の選定は非常に難しくなってくる。適切な方が沢山おられるわけでもない。日工会等工業会からのご協力もあるわけだが、名物講師といわれるような方には今のうちに講義を受けておくという状態を作ることができる。中々これだけの講師陣を揃えることは難しく、この意味で内外ともにご評価を頂いておりこれからも充実させていく。基礎講座は兎も角、SE講座の方は中堅向けであり業界発展のためにも充実させていかねばならない。そういう意味で新しい技術革新の時代に沿った内容にすべきとか様々なご要望が出てくる。膨大な資料をきちんと製本できる設備投資もしているが、これからのSE講座がどうあるべきかしっかり考えて教育委員会を進めていきたい。

(3) 西部地区期末懇談会 (3/14)：

植田地区委員長から報告。江坂東急 REI ホテルで開催。情報交換会に32社44名、懇親会に28

社 42 名の参加、情報交換会の内容としては、今回は正会員・賛助会員共によく似た内容が多く、売上げは、前期からの持越しもあったか各社ともに増収傾向だが、受注に関しては 2023 年秋ごろからの影響が 10 ~ 20%ダウンという傾向が多い。また 2024 年度においても補助金の影響力は中々抜けず、補助金がないと先行きが見通せないという意見と、前回の事業再構築補助金でモノづくり業界の採択率が低かったことが心配という情報もあった。エリア的には東部とか西部とかが好調という意味でいうと皆さんバラバラであるが、変化としては中部における景況感が少し上がってきているという意見が多かった。また支店等を持っている会社からは中四国の動きがよいというのは共通意見。また九州地方はまだまだ中々苦しいという意見も共通。活発な業界としてはパワー半導体、建築関連、省人化・自動化設備においてはそれなりに動いている。先行きは確実に動くと言っているが、ずれ込みが心配との意見も多かった。最大の懸念は人材不足であるとの話。

最後に日工販の新事業として JIMTOF2024 への出展及び協賛団体としての加盟を目標とするのでご支援をお願いしたいとして交換会を終了。懇親会も非常に盛り上がった。

(4) 調査広報委員会 (3/18) :

開催時は前任の委員長であったので、専務理事から報告。まず 2023 年度の総括として、日工販 NEWS の寄稿内容及び予算と実績を比較。2024 年度の予算方針でもある JIMTOF について予算に見込む。造作については JIMTOF 事務局に紹介してもらおうが、後日お示しする 2024 年度予算に検討の上盛り込んでいく。また例年行っている JIMTOF 座談会も行う予定。また HP のリニューアルを考えねばならない。

(5) 中部地区情報交換会 (3/19) :

後藤地区委員長から報告。マザックアートプラザで開催。正会員 18 社 22 名、賛助会員 7 社 7 名、リース会員が 1 社 2 名で合計 31 名が参加。今回はトライアルとしてグループディスカッションを行った。テーマを出席者から出してもらい、そのテーマに興味がある方が 5 ~ 6 人で集まって話をしてもらった。挙がったテーマは人材採用・カーボンニュートラルの取り組み・人材育成・ロボットを使った自動化における問題点・スムーズな引継ぎの仕方・EV の展望今後の自動車業界の展望であるが、結論を出したいわけではないので、各社とも忌憚のない話し合いができたのではないかと考えている。懇親会含め、皆さんかなり満足して帰られたのではと感じている。

(6) 東部地区委員会 (4/24) :

専務理事より説明。今年度の行事検討。以前開催していたが中断していた「若手・中堅研修会」を企画。8 月 28 日に実施予定。講演内容は現在詰めているところ。その他の行事は以下の通り。

- JIMTOF 製品研修会 10 月 1 ~ 2 日
- 懇親ゴルフ会 (11/16)
- 情報交換会 (11/18)
- 地区忘年懇親会 (12/10)
- 工場見学会 (2 月) 北陸方面の予定。

(7) リース賛助会員退会の件

①首都圏リース(株) ②昭和リース(株)
5 月 31 日付退会。

(8) 経産省からの連絡

中小企業保護の観点から、特に約束手形を 60 日以内とすべしとの検討を行っているので、資料をよくお読みいただきたい。

(9) 流通動態調査 (資料⑥)

専務理事より説明。若干、景況感に良化がみられる。

東部地区 工場見学会

2024年度東部地区工場見学会を、9社27名の地区会員の方々をご参加され、以下日程にて開催いたしました。

1. 日 時：2024年2月19日（月）～20日（火）

2. 訪問先：

- ①2月19日： 12：00高崎駅集合 → (株)岡本工作機械製作所（安中市） → シチズンマシナリー(株)（長野県北佐久郡） → 懇親会（高崎泊）
- ②2月20日： 08：00ホテル発 → 高崎駅 → 新幹線乗り継ぎで三島へ → （2日目のみの参加は11：30三島駅集合） → ファナック(株)（山梨県都留郡） 昼食後工場見学 → 三島駅解散（17：00頃）



(株)岡本工作機械製作所



シチズンマシナリー(株)



ファナック(株)



ファナック(株)



ファナック(株)

東部地区 2024年度地区委員会

日 時：2024年4月24日（水）15:00～17:00
 場 所：日工販事務局会議室
 出 席 者：委員長、委員4名、事務局 以上6名

1) 2023年度活動実績について

昨年度予算に対する活動実績の報告。

2) 2024年度行事について

各行事の具体的内容・開催時期について検討した。

なお、以前開催していたが中断していた「若手・中堅研修会」を企画し8月実施の方向で調整。これを含め、地区行事として以下のとおりの開催予定とした。

- ① 若手・中堅研修会 8月28日（水） ※講演内容は調整中
- ② JIMTOF 製品研修会 10月1日（火）～2日（水）
- ③ 懇親ゴルフ会 11月16日（土）
- ④ 情報交換会 11月18日（月）
- ⑤ 忘年懇親会 12月10日（火） ※ KKR ホテル
- ⑥ 工場見学会 2025年2月（北陸方面予定）

中部地区 工場見学会

日 時：2024年2月26日（木）7:50～18:00

●見 学 先：

- ① 「京セラ株式会社」 滋賀八日市工場
滋賀県東近江市蛇溝町1166-6
- ② 「ダイキン工業株式会社」 滋賀製作所
滋賀県草津市岡本町1000-2

●参加形態：JR名古屋駅西口集合・解散／貸し切り大型バスで移動

●参加者数：全33名（正会員）

【京セラ株式会社】 滋賀八日市工場

京セラ株式会社（kyocera.co.jp）

設立：1959年

売上：2兆250億円（2023年3月期）



10:00～12:00	名古屋営業所 中部営業部責任者 若生様より開会ご挨拶 八日市工場 工具製造部責任者 岩本様より、京セラ概要及び八日市工場についてご説明 1963年：滋賀蒲生工場 1980年：滋賀八日市工場を新設 八日市工場では「セラミックス製品・水晶関連製品・切削工具・太陽光システム」などを主要製品として製造。 切削工具（チップ・ドリル・リーマー）などの製造工程を見学 CBNを採用した高硬度材加工用チップを開発し長寿命、耐久損性を向上。 特注ボーリング工具では高精度かつ簡単な微調整システム（K-Bore）を採用した工具を生産。 ドリルはΦ0.1mmの極小径ドリルも生産。刃先は顕微鏡で確認しなければ確認できない。
-------------	---

	<p>切削工具（チップ・ドリル・リーマー）などの製造工程を見学 CBN を採用した高硬度材加工用チップを開発し長寿命、耐久損性を向上。 特注ボーリング工具では高精度かつ簡単な微調整システム（K-Bore）を採用した工具を生産。 ドリルはΦ 0.1mmの極小径ドリルも生産。刃先は顕微鏡で確認しなければ確認できない。</p> <p>DX（デジタルトランスフォーメーション）の加速 2020年4月に「デジタルビジネス推進本部」を新設し、経済産業省が提起した「2025年の崖」問題を克服すべく、年間100億円を投資し、3割程度の業務効率改善を目指している。 代表的な取り組みとして、 ・個人へ携帯端末を貸与し作業手順書をQRコード化することで、いつでも正しい作業手順を確認することができる。 ・加工物の計測値をAIで判断し、データを加工機へ流し込むことで自動的にパラメーター補正をかけて製品精度の向上を図っている。 （従来は、計測数値を紙へ記入→補正值を手計算→工作機械へ補正值を手入力）</p> <p>工場見学においては各工場で作業されている方から直接説明して頂き、質問に対しても現場目線でのご回答を下さいました。八日市工場での工場見学の受入れは年に数回との事で、工場全体で我々を受入れて頂いている印象がとても強く感じられました。</p> <p>謝辞：山善／増岡部長より</p>
--	--

【ダイキン工業株式会社】滋賀製作所

ダイキン工業株式会社 (daikin.co.jp)

創業：1924年

売上：3兆9,800億円（2023年3月期）

<p>14:00 ~ 16:00</p>	<p>会社概要及び、滋賀製作所の説明。 1924年創業、今年で100周年。 売上高3.98兆円。今年度は4兆円を目指す。 全世界に生産拠点を構え、各地域でサプライチェーンを構築し地産地消とする事で部材の供給不足などのリスク回避に取り組んできた。</p> <p>滋賀製作所ではエアコン（パッケージエアコン・ルームエアコン）、エコキュートを製造している。 エコキュートは買い替え需要や補助金の施策もあり好調。 「変種変量生産」を導入し3日に1回生産計画を変更しており、変更にあたっては営業からの需要動向などを基に生産計画を策定している。 生産方式は「ダイキン流セル生産方式」を導入している。通常のセル生産方式に加え、作業者ごとに作業台の高さが自動的に調節されるなど、作業者への負担軽減が図られている。</p> <p>入社3年目までの社員の方に工場見学のアテンド役としてご対応頂きました。 社員教育の一貫であるとのことでしたが、説明内容や対応に関してはとても丁寧で社員教育の素晴らしさを実感致しました。 工場内はかなりの数のAGV（無人搬送車）が走行しておりました。 AGVからの積載物の移動や反転は自重や傾斜による「からくり」が多用され、動力不要で作業効率の向上や作業者の負担軽減が図られていました。 材料の調達リスクやコストなどを考慮し、一部では熱交換器の銅配管をアルミ配管に置き換える取り組みがされておりました。</p> <p>謝辞：三栄商事／後藤社長より</p>
--------------------------	---

※ 2019年以降の開催となりましたが、募集定員30名を上回る34名の申込みとなりました。当日キャンセルが1名あったものの、両訪問先ともに定員を上回る33名の受入れを頂き催行となりました。当日の現地は小雨も降る肌寒い天気となりましたが、2024年の工場見学会は事故も無く無事終了致しました。



中部地区 情報交換会

【情報交換会】 日 時：2024年3月19日（火）15:00～17:00
場 所：マザックアートプラザ 4F 中会議室
出 席 者：31名

【懇親会】 日 時：同日 18:00～20:00
場 所：板前料理 尾州
出 席 者：22名

■ 情報交換会

正副会員：18社 22名

賛助会員：7社 7名

リース会員：1社 2名

後藤地区委員長より、開会挨拶および本日の進め方について提案がありました。

従来は各社から現況報告を行う形式でしたが、今回はテーマを挙げて5～6名のグループでディスカッションし、最後に各グループが発表する形式を採用しました。

指名された会員が議題を提案し、各グループでファシリテーター・書記・発表者を決めスタートしました。

ディスカッションでは各社が抱える悩みや問題点を共有し、あるグループは業界として解決に向け何をすべきかを話し合いました。

少人数で密度の濃いディスカッションとなり、グループ内では終始笑い声も絶えず、従来とは違った雰囲気の情報交換会となりました。

また、今回は正会員に加え、賛助会員・リース会員にもご参加頂いており、業界の垣根を超えたディスカッションに花が咲き、有意義な時間を過ごすこととなりました。

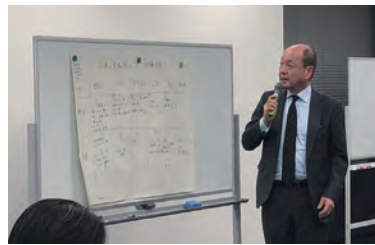
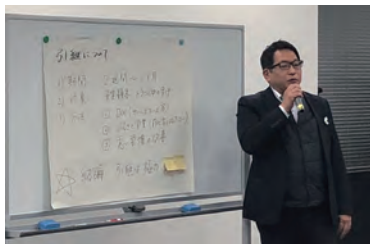
各グループのテーマは以下の通り

- ・人材採用について
- ・カーボンニュートラルへの取り組みについて
- ・人材育成について
- ・ロボットを使った自動化における問題点
- ・スムーズな引き継ぎの仕方
- ・EVの展望、今後の自動車業界の展望について

■ 懇親会

会場を「板前料理 尾州」に移し、カトー機械（株）加藤社長のご挨拶と乾杯ご発声により、参加者22名の皆様が引き続き情報交換を行いながら、懇親を深めました。

大いに盛り上がる中、中部地区より異動されるユアサ商事（株）渡辺部長、及び（株）山善 増岡部長より惜別の言葉を頂いた後、同氏による三本締めでお開きとなりました。



西部地区 情報交換会

日 時:2024年3月14日(木)(受付14:30~)
場 所:新大阪江坂東急REIホテル

■ 情報交換会(15:00~17:00) 参加者:32社44名

今回は市況報告の状況が正会員・賛助会員ともに同じ傾向が強いと見受けられた。

まずは、各社の決算状況。決算時期は様々ではあるがまだまだ3月決算が主。

その中で全体的な傾向として売上ベースは先期の受注残を持った上期の影響もあり、計画通りか、もしくは増収の傾向であるが、受注ベースは2023年度の秋あたりからの厳しい状況が響き10~20%ダウンの傾向が多かった。

中には、半導体を含む脆性材加工の牽引や開発案件を手掛けるUSERとの結びつき、また車載関連を含めた板金・センサー・バスバーなどの、やはり開発を絡めたUSERを捕まえることで大きな受注もある。

補助金の影響はまだまだ大きく、2024年においても補助金頼みの部分は否めない。

そのような中で、前回の事業再構築補助金のものづくり業界の採択率が低かったことは心配材料である。

エリアの状況はまばらで特に東・西での絶対的な傾向はなく、各取り組み方で評価はさまざまであったが、2022年と少し変わってきたのは“中部の市況が悪い”という評価から少し動いてきた報告が多く、東・中・西において突出した全体評価は感じられなかった。

全体的な意見で、なかでも“中・四国の動きが良い”ことと“九州が悪い”という状況は見てとれた。

活況な業界としては、Power半導体・建築関連・自動機で大きく動く想定されている半導体業界の全体的な動きは年度末もしくは2025年に伸びそうであるが、動くことは間違いないという評価は全体の総意であった。

自動車業界においても動き始めていることは間違いないが、まだ少し時間がかかる模様。

懸念事項は人材不足である。

最後に日工販の新たな事業報告として、

JIMTOF2024への日工販出展、および今後日工販が協賛協会として日工販加盟会社のJIMTOF出展を可能にしていきたいという事に触れ、賛助会員殿のご協力・ご支援の下、更なる発展に向けて努力する事をお約束し終了。

■ 懇親会 (17:00 ~ 19:00)

1. 開式のあいさつ 日工販副会長代行 岡本 淳 (宮脇機械プラント (株) 代表取締役社長)
2. 乾杯 (株) 牧野フライス製作所 大阪支店長 藤沢 敦様
3. 中締め ユアサ商事 (株) 関西工業機械部長 脇田祥吾様
司会 日工販西部地区委員長 植田修平 (植田機械 (株) 代表取締役社長)

28社42名の皆様をお迎えし、有意義な懇談の時間を持ちました。



会場の様子



藤沢敦様 (株) 牧野フライス製作所
乾杯



脇田祥吾様 (ユアサ商事 (株))
中締め

■ 会員消息

《賛助会員（メーカー）》

二村機器株式会社

代表取締役 二村 忠宏

〒453-0862

愛知県名古屋市中村区岩塚町字九反所55番地

☎ 052-411-1196 e-mail otoiawase@futamura.co.jp

株式会社長谷川機械製作所

代表取締役社長 長谷川 透

〒337-0053

埼玉県さいたま市見沼区大和田町1丁目602番地

☎ 048-683-5061 e-mail info@hasegawa-m.co.jp

■ 編集後記

今年の春闘は大企業を中心に満額回答が相次ぎ、平均賃上げ5%超と、33年ぶりの高水準となり、賃金と物価の好循環が確認されたということで、日銀が2016年から続けていたマイナス金利を解除しました。これで昨年から続く記録的な円安水準も少しは改善されると期待したのですが、欧米との金利差は依然として大きく、また、海外で稼いだ外貨を売って、円を買う企業も減っており、依然として円安の状況が続いています。日本で生活している分にはあまり気にならないのですが、ひとたび海外出張すると、インフレと円安のダブルパンチで、ミネラルウォーター1本買うのも躊躇ってしまうという方も多いのではないのでしょうか。賃金のみならず、海外における各種の手当を見直す会社も出てくると思います。コストが増える一方、不動産価格の下落に端を発した中国経済の減速が重くのしかかり、また、米大統領選の行方を見定めようという動きもあり、円安にもかかわらず、売上を思うように伸ばせない状況になっています。

暗い話ばかり続けましたが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されてから1年、海外との人の往来が戻り、各地の観光地は大勢の外国人観光客で賑わっています。安くて美味しい食事だけでなく、これを機会に日本のものづくり文化に触れてもらい、1人でも多くの日本ファンを増やして、日本製の設備を購入してもらえることを期待しています。

最後になりますが、今回初めて寄稿させていただきます。今後とも何卒よろしくお願い致します。
〔久富〕

4月に入社された新入社員の方々も少しづつ社会人生活に慣れたところではないかと思えます。

まずは明るい話題として、今年も大谷翔平選手について連日報道されておりますが、21日（日本時間22日）、大リーグ通算176本塁打を放ち、松井秀樹氏の175本を抜いて日本人選手として歴代最多となりました。達成までの打席数が、松井秀樹氏が5,066打席で175本達成に対して、大谷翔平選手は2,979打席目で176本を達成したことには、大谷翔平選手の凄さをあらためて感じさせられました。これからどれだけ本数を増やすか本当に楽しみであります。

一方、イスラエルとイランの戦争勃発、2年以上が経ち長期化しているロシアのウクライナ侵攻が世界にどのような悪影響（経済、食料、エネルギー等）を与え続けるのかわかりませんが、一刻も早い終息を願っております。

今年はJIMTOF2024が開催（2024年11月5日～10日）されます。今後、出展社のコンセプトや展示内容の詳細が展開されますが、カーボンニュートラルへの対応、労働力不足による更なる自動化、進化する3Dプリンター等の対応・対策についての情報を収集出来ればと思っております。今回は前回よりも出展社が増えるとのことですので、来場者数も前回を上回ることを期待しております。
〔君村〕

お問い合わせ・ご意見をお寄せください。

■ E-mail : jmta@nikkohan.or.jp

日工販NEWS May 2024

2024年5月発行

発行	日本工作機械販売協会 〒108-0014 東京都港区芝5-26-30 専売ビル3階 電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879
発行責任者	専務理事 中島 和彦
編集	日工販調査広報委員会 委員長 久富 常之（丸紅テクノシステム株式会社） 委員 君村 義人（伊藤忠マシンテクノス株式会社） 中村 龍二（株式会社トミタ） 金子 智彦（三菱商事テクノス株式会社） 黒崎 一成（株式会社牧野フライス製作所） 伊藤 真（三井住友ファイナンス&リース株式会社）
制作・印刷	株式会社昌文社 〒108-0014 東京都港区芝5-26-30 電話 03-3452-4931 http://www.sho-shiba.com

正会員 (全81社)

東部地区 (36社)

(株) 旭 商 工 社
 アルビテクノロジー(株)
 伊藤忠マシテクノス(株)
 イワイ機械(株)
 (株) ウインテック
 大石機械(株)
 (株) カナデン
 (株) カネコ・コーポレーション
 (株) 兼松 K G K
 (株) 京 二
 (株) 共和工機
 (株) 群馬工機
 (株) 小 林 機 械
 佐藤商事(株)
 (株) 三 機 商 会
 三 洋 マ シ ン
 サ ン ワ 産 業
 シ マ モ ト 技 研
 住友商事マシネックス(株)
 (株) セイロジャパン
 誠和エンジニアリング(株)
 双日マシナリー(株)
 帝通エンジニアリング(株)
 (株) テ ヅ カ
 (株) ト ミ タ
 (株) 豊 通 マ シ ナ リ
 (株) N a I T O
 日 鋼 Y P K 商 事
 丸 紅 テ ク ノ シ ス テ ム
 三井物産マシテック(株)
 三菱商事テクノス(株)
 (株) ヤ マ モ リ
 ユ ア サ 商 事
 米 沢 工 機

中部地区 (23社)

石 原 商 事 (株)
 (株) 岡 谷 機 販
 力 ト 一 機 械
 釜 屋 商 事 (株)
 岐 阜 機 械 商 事 (株)
 甲 信 商 事 (株)
 三 栄 商 事 (株)
 (株) サ ン コ 一 商 事
 三 立 興 産 業 (株)
 下 野 機 械 (株)
 (株) 大 大 成
 (株) 大 大 誠
 (株) 大 和 商 会
 (株) 東 陽

(株) 日 本 精 機 商 会
 浜 松 貿 易 (株)
 (株) 不 二
 三菱電機メカトロニクステクノロジーズ(株)
 山 下 機 械 (株)
 (株) U - M A C H I N E
 ワ シ ノ 商 事 (株)

西部地区 (22社)

赤 澤 機 械 (株)
 伊 吹 産 業 (株)
 植 田 機 械 (株)
 O T フ ァ テ ヅ ク (株)
 関 西 機 械 (株)
 京 華 産 業 (株)
 合 田 商 事 (株)
 五 誠 機 械 産 業 (株)
 桜 井 機 械 (株)
 (株) ジ ー ネ ッ ト
 (株) ダ イ イ チ テ ク ノ ス
 大 幸 産 業 (株)
 (株) 立 花 エ レ テ ヅ ク
 (株) タ ナ カ 善
 西 川 産 業 (株)
 日 工 機 材 (株)
 (株) ニ ッ ツ マ シ ナ リ
 日 本 産 商 (株)
 (株) マ ッ ク マ シ ン ツ ー ル
 (株) マ ル カ
 宮 脇 機 械 プ ラ ン ト (株)
 (株) 山 善

賛助会員 (全77社)

製造業 (68社)

アイダエンジニアリング(株)
 (株) ア マ ダ マ シ ナ リ
 育 良 精 機 (株)
 エヌティーツール(株)
 (株) MSTコーポレーション
 (同) L N S ジ ャ パ ン
 エ ン シ ュ ウ (株)
 オ ー エ ス ジ ー (株)
 (株) オ ー エ ム 製 作 所
 オ ー ク マ (株)
 (株) 岡 本 工 作 機 械 製 作 所
 (株) 神 崎 高 級 工 機 製 作 所
 (株) 北 川 鉄 工 所
 キ タ ム ラ 機 械 (株)
 (株) 北 村 製 作 所
 (株) キ ャ ド マ ヅ ク
 キ ャ ム タ ス (株)
 黒 田 精 工 (株)
 三 愛 エ コ シ ス テ ム (株)
 サ ン ド ビ ヅ ク (株)
 三 宝 精 機 工 業 株 式 会 社
 (株) C & G シ ス テ ム

(株) ジ エ イ テ ク ト
 (株) シ ギ ヤ 精 機 製 作 所
 シ チ ズ ン マ シ ナ リ ー (株)
 芝 浦 機 械 (株)
 新 日 本 工 機 (株)
 新 住 友 電 気 工 業 (株)
 (株) ソ デ ィ ヅ ク
 大 日 金 属 工 業 (株)
 (株) 太 陽 工 機
 高 松 機 械 工 業 (株)
 (株) T A K I S A W A
 (株) ツ ガ ミ
 津 田 駒 工 業 (株)
 D M G 森 精 機 (株)
 (株) 東 京 精 機 工 作 所
 (株) 東 京 精 密
 東 洋 精 機 工 業 (株)
 (株) ナ ガ セ イン テ グ レ ッ ク ス
 中 村 留 精 密 工 業 (株)
 (株) 西 田 機 械 工 作 所
 (株) 日 研 工 作 所
 (株) 日 進 製 作 所
 ニ デ ッ ク オ ー ケ ー ケ ー (株)
 ニ デ ッ ク マ シ ン ツ ー ル (株)
 ハ イ デ ン ハ イ ン (株)
 (株) 長 谷 川 機 械 製 作 所
 (株) 初 田 製 作 所
 浜 井 産 業 (株)
 浜 名 エ ン ジ ニ ア リ ン グ (株)
 B I G D A I S H O W A (株)
 フ ァ ナ ヅ ク (株)
 (株) F U J I
 二 村 機 器 (株)
 ブ ラ ザ ー 工 業 (株)
 豊 和 工 業 (株)
 牧 野 フ ラ イ ス 精 機 (株)
 (株) 牧 野 フ ラ イ ス 製 作 所
 (株) 松 浦 機 械 製 作 所
 三 井 精 機 工 業 (株)
 (株) ミ ツ ト ヨ
 三 菱 電 機 (株)
 三 菱 マ テ リ ア ル (株)
 (株) M O L D I N O
 安 田 工 業 (株)
 ヤ マ ザ キ マ ザ ヅ ク (株)
 吉 川 鐵 工 (株)

リース業 (9社)

共 友 リ ー ス (株)
 J A 三 井 リ ー ス (株)
 十 六 リ ー ス (株)
 首 都 圏 リ ー ス (株)
 昭 和 リ ー ス (株)
 三井住友トラスト・パソニックファイナンス(株)
 三井住友ファイナンス&リース(株)
 三菱H C キャピタル(株)
 三菱電機フィナンシャルソリューションズ(株)



日本工作機械販売協会

JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-30 専売ビル

TEL.03-3454-7951 FAX.03-3452-7879

<http://www.nikkohan.or.jp>